地方史情報 145

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	石川県	24	島根県	43
秋田県	2	山梨県	26	岡山県	44
山形県	3	長 野 県	26	広島県	44
福島県	5	静岡県	28	山口県	45
茨 城 県	6	愛 知 県	29	徳 島 県	47
群馬県	7	滋 賀 県	31	福 岡 県	48
埼 玉 県	7	京都府	33	佐 賀 県	49
千葉県	9	大 阪 府	35	宮崎県	49
東京都	10	兵庫県	39	鹿児島県	50
神奈川県	19	奈 良 県	41	寄贈図書	51
新潟県	23	和歌山県	41		

北 海 道

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 TEL011-299-6834 年5000円

♦ 79 2020.7 B5 2p

2019年度会計監査の実施の報告

高橋 和男

イベント紹介 「全国地名研究者利賀村大会」開催きまる 会報資料紹介 井口利夫著「石狩川のアイヌ語地名(6) — 2 つのフシ コベツー」(「いしかり暦」第33号)/「日本地名研究所通信」第97号

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2·7ビル9階 TEL011-271-4220 http://hokkaido-bunkazai.jp **♦379** 2020.5 A4 8p

タキカワカイギュウ復元標本と全身骨格模型

永井 芳仁

投供信仰

竹川 輝雄

シリーズ・伝える 中標津らしい景観学習~町内全小学校での展開

東田秀美/植田暁

まちのイチオシ 小平町鬼鹿田代「鬼鹿天応寺蔵 龍図天井画」がつ

なぐもの

長澤 政之

北海道指定 無形民俗文化財·天然記念物 金刀比羅神社例大祭(根 室市) 「民俗習慣] / 釧路鳥取きりん獅子舞(釧路市) 「民俗芸能] / ナカガワニシン化石(中川町) [天然記念物]

博物館ひろば 札幌の独自性とは…

札幌市の博物館展示計画

古沢 仁

顧問 原一夫先生の逝去を悼む

舟山 廣治

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 1至0152-45-3888 1991年創刊

http://hoppohm.org

♦117 2020.6 A4 4p

D1212 木彫り能〈ぶどう親子能〉

北海道/旭川市/近文 18.5×30.9×46.8cm

ロビー展 北海道土産と木彫り熊

宮本 花恵 野口 泰弥

ロビー展 北方のキーストーン サケ

移動展 サハリンアイヌの衣服

笹倉いる美

秋 田 県

◆秋田歷研協会誌 秋田県歴史研究者·研究団体協議会 〒010-0811秋田市泉釜ノ町16-5 渡辺方 1996年創刊

http://akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html

♦ 73 2020.5 B5 26p

報告 令和2年度秋田歷研協総会報告

事務局

用語解説 分限帳 その4(横手組下 戸村、向分)

半田 和彦

秋田城(久保田城)という名称記載の記録

谷内 征美

新刊紹介 秋田県戦争遺跡研究会編『秋田県の戦争遺跡―次世代を担

うあなたへ

外池 智

自著を語る『名族佐竹氏の神祇と信仰』

神宮 144 新刊紹介 長沼宗次著『フィリピンに消えた秋田の軍隊』 渡辺 修

加入団体紹介 秋田県芸術文化協会

秋田県芸術文化協会の軌跡と課題

西村 茂

文献情報 加入団体会誌、その他の会誌、著作等/催しもの情報

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内児桜1-5-55 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333 1981年創刊 http://w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html

♦94 2020.5 B5 41p

巻頭言 ウイルス感染症を記録した真澄

小笹 鉄文

真澄の和歌の位相一柳田国男の言説を巡って

細川 純子

毛越寺延年の舞の世界―『かすむ駒形』の記録を読み解く

菊地 利雄

菅江真澄の地誌執筆胎態度 河童の詫証文―菅江真澄『月の出羽路』仙北郡六巻を交えつつ

金児 紘征 星野 岳義

連載 真澄の一枚(26) 雪中用具(1)

『粉本稿』より(大館市立栗盛記念図書館提供)

菊地 利雄

真澄短信 菅江真澄没後190年記念展 本洗馬歴史の里資料館/広域 科学教科教育学研究経費成果報告書 研究代表者 石井正己氏/歌 謡曲「真澄一代」 横手市のシンガーソングライター 高原照夫さ ん/リチャード・ジャンボールさんからのメッセージ/小野努さん が春の叙勲受章

刊行物紹介 『真澄研究』二十四号 秋田県立博物館菅江真澄資料セ ンター/『福司満全詩集 朗読CD付き』刊行編集委員 亀谷健樹・ 寺田和子·鈴木比佐雄

山形県

◆聴 雪 新庄古文書の会

〒996-0084新庄市大手町2-65 大場英一方 1510233-29-2786 1997年創刊 **♦ 24** 2020.7 B 5 84p

巻頭言 古文書から今を考える

矢口 實

学習会 第1部 丑御用諸願書留帳(2)—平岡村松沢家文書

講師:新国吉朗/解読:神崎清次・大津純一・早坂誠・早坂武昌・ 武田晴美・梁瀬平吉・阿部修一・伊豆倉公子・佐藤周一・沓澤正 昭

解 説 新國 吉朗 入力:解読文·解説文(新國吉朗)

学習会 第2部 古瀬本『古老覚書 巻七』(2)

講師:伊藤勉

 解 説
 新國 吉朗

 解説 遺稿
 大友 義助

入力:解読文(新国吉朗) 解説文(大泉友子)

史料紹介「井関家文書|

「井関家文書 | について 新國 吉朗 無題〔村付之覚(下知状)〕 早坂 武昌 無題〔持足軽預之こと(下知状)〕 大津 純一 無題〔組付之侍預置之こと(下知状)〕 阿部 修一 口達(祝詞) 箱山 伶 無題〔永く於其地大義仕候(感状)〕 武田 晴美 無題「奮戦令隊指揮候こと(感状)〕 佐藤 周一 領知之事 井関 恭雄 自由研究 「奥羽越軍記」から学ぶ 武田 晴美

ふるさと古学野外研修

 一日本遺産・政宗が育んだ「伊達」な文化に浸る
 伊豆倉公子

 中関谷遺跡発掘調査について
 早坂 武昌

 姉 弟
 早坂 武昌

◆山形民俗 山形県民俗研究協議会

アイヌ習俗に似る最上の川の神勧准

〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方 1至023-623-5687 1987年創刊

◇31 2018.3 A5 68p 900円

巻頭言 巻頭言にかえて 春山 進 追弔文 大友義助先生を偲んで 野口 一雄 霊山と地域おこし一羽黒山と戸隠山を事例として 岩鼻 通明 「ムカサリ絵馬」なるものへの言説にみる太平洋戦争のインパクト 小田島建己 「杉沢比山」番楽の特徴および検討課題 菊地 和博 記紀神話とアイヌの要素を持つ鮭の伝説―青森県八戸地方の事例 村田 弘 置賜の狛犬(石像)について 渡邊 敏和 強力の太鼓荷について 渡辺 幸任 **◇32** 2019.10 A5 50p 900円 山形県の文化遺産と地域資源 岩鼻 通明 鳥海山日立舞(横岡番楽)の演目考察 菊地 和博

清野 春樹

置賜地方在住の仏師たち 月山で亡くなった参詣者と強力について 県内の主な民俗関係出版物 (平成29年9月1日~平成30年8月31日)

渡邊 敏和 渡辺 幸任

福島県

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8116福島市春日町5-54 1至024-534-9193 2002年創刊

http://www.history.fcp.or.jp

♦ 57 2020.6 A 4 4p

川俣銀行員時代の古関裕而 昭和4年(1929)8月17日付計算書(「銀行関係書級」、福島大学蔵川俣町役場文書111)、昭和5年(1930)2月21

日付計算書(「銀行関係書綴」、福島大学蔵川俣町役場文書111) 疱瘡が治った伊達吉村 会津の一つ目小僧と『怪事雑話』 知られざる俳人・雪香堂文樹 「類世年鑑」にみる除災の怪魚「神蛇魚」

一〇〇年前の感染症対策

渡邉 智裕 渡邉 智裕 小野孝太郎 山田 英明 小野孝太郎



*福島市生まれの作曲家 古関裕而と妻金子をモデルにした NHK 連続テレビ小説『エール』は、コロナ禍で暫く中断していたが、間もなく再開するようである。 呉服店を営んでいた裕而の実家は昭和金融恐慌の影響もあって廃業に追い込まれるが、裕而は1928年に母方の伯父が経営していた川俣銀行に就職する。ドラマではのんびりした行内の様子が描かれていたが、実際もそのとおりであったようである。福島県歴史資料館収蔵の『銀行関係書綴』(福島大学蔵川俣町役場文書)から古関の印が押された元金、利息、差引金額を記載した1929年から30年にかけて の川俣銀行の計算書が発見された。裕而の在職の証明であり、若き日の仕事ぶり が偲ばれる。よくぞこのような書類まで保存されていたものである。

茨 城 県

◆茨城史林 茨城地方史研究会(発売:筑波書林)

〒310-0053水戸市末広町1-5-39 久信田喜一方 15029-222-1228 年3000円 1972年創刊

◇44 2020.6 A5 116p 1091円

巻頭言 地方史研究協議会茨城大会の成功を祈る

久信田喜一

古代常陸国真壁郡の郷について(2)-真壁・伊讃両郷を中心に

久信田喜一 鈴木 暎一

藤田幽谷著『修史始末』をめぐる覚書―その史料的性格を中心に つくば市一ノ矢八坂神社の祇園祭(ニンニク祭)

近江 礼子

幕末水戸藩医 小林元茂二代の生涯と業績

内田 正人

書籍紹介

水戸市立博物館編『石川明善日記』

水戸市立博物館資料調查·研究集録第一集 永井博著『徳川斉昭―不確実な時代を生きて』 永井 博

並木 克央

史料調査班調査報告 下妻市飯村家文書の調査

久信田喜一

◆水戸史学 水戸史学会

〒310-0852水戸市笠原町979-42 但野正広方 12029-243-6910 1974年創刊 **♦92** 2020.6 A5 82p

『扶桑拾遺集』収録の『むさし野の紀行』について

梶山 孝夫

佐久良東雄の万葉表現

玉川可奈子

善重寺聖徳太子立像についての一考察

住谷 光一 仲田 昭一

「水戸の両田」の一翼 忠太夫戸田蓬軒忠敞 水戸城下地図に藩士を追う(7)

斎藤 郁子

水戸天狗党西上勢の戦跡をゆく

飯村 尋子

「善養老」・「三楽」・「名之、必可言也」

宮田 正彦

名越漠然『近世水戸先哲逸話』の逸文

渡邉 拓也

新刊紹介

関口直佑氏著『近代日本国体論の研究・会沢正志斎と考証学』 梶山 孝夫

群馬県

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154前橋市天川大島町317-1 TeLO27-223-2785

年4500円 1973年創刊 http://www16.plala.or.jp/kuzira226/

♦263 2020.7 A5 57p

口絵 治安の礎の碑(軽井沢町) 井野 修二

小幡家の帰還一小幡羊太夫信仰と「多胡碑隠存事件」 佐藤喜久一郎

群馬の鉱山(2) 西ノ牧鉱山編(1) 本多 優二

井野 修二

白河に松平直矩を訪ねて

群馬県の満蒙開拓青少年義勇軍 「曠野に消えた青春」を追って 東宮 春生

 奄美・加計呂麻の旅
 斎藤 遙山

 武家株売買の一例 高崎藩稲荷台名主次男、一転医術修行
 富所洋一郎

本部がより 内 同門番間門口石工(人力)、 転送削砂打 支部がより

藤岡支部(第89回) 難攻不落の城小田原城と郷土関連史跡 金井 正元 渋川・子持支部 箱根・小田原方面 佐藤 義一

歴史散歩の報告(事務局企画)

韮崎と七里岩の台地―甲斐武田氏のルーツを追う 山崎 正
「街道を歩く」群馬県歴史の道シリーズパンフレット 小嶋 圭

表紙写真 西ノ牧鉱山製錬所(窯)跡(下仁田町) 本多 優二

埼 玉 県

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂11-1 さいたま市市民活動サボートセンター メールボックスB13 年3000円 1975年創刊

http://saitama-chihoshi1952.blogspot.com

♦ 79 2020.6 A 5 66p

追悼 吉本富男名誉会長

吉本富男先生年譜

吉本さんを偲ぶ 竹内 誠

文書館草創期を吉本先生と共に 小池 信一

 吉本富男先生を偲ぶ
 根岸 敏

 実直、剛毅な先生
 大岡 正幸

吉本富男先生の思い出 井上 恵一

吉本富男先生の思い出 老川 慶喜

吉本富男先生との出会い 白戸 伸一 結縁・草縁・隋縁 中山 正則 吉本富男先生を偲んで 犬飼 大 責任感の強い吉本先生 昇 飯塚 吉本富男先生を偲ぶ―仰ぎ見る霊峰の如く 白田 勝美 吉本先生の思い出 芳賀 明子 吉本先生、二五年間お世話になりました。 一條 三子 吉本富男先生と私 有元 修一 吉本先生の思い出 武井 尚 吉本富男先生と古文書 重田 正夫 "助さん"の吉本先生と"格さん"の私 田代 脩 小特集 地方史研究と文書館の現在(いま)

小特集にあたって

吉本富男先生インタビュー 草創期の地方史研究と文書館

吉本富男先生に教えていただいた「現場の文書館学(アーカイブズ

学)」

地方史研究と埼玉県地方史研究会 「文書館」一日本と埼玉の現在 近世後期大宮氷川神社における相撲興行 水野 保 新井 浩文 太田 富康 齊藤みのり



*2019年6月に93歳で逝去された、埼玉県地方史研究会名誉会長吉本富男氏の追悼特集号である。吉本氏は、群馬県高崎市の生まれで、埼玉県立浦和高校教諭を経て、同県立図書館文書課長、県立文書館長、県立浦和図書館長を歴任し、定年退職後は、県総務部行政史編さん室に勤務。また、この間、埼玉県市町村史編さん連絡協議会会長、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会長、埼玉県地方史研究会会長に就いた。特に、県立文書新館建設とその運営、専門職員養成、県内自

治体の文書館建設への助言など、古文書や行政文書の調査、収集、保存、利用の促進に大きな功績を残した。『埼玉県地方行財政制度の一考察』(さわらび舎2016)の著作もある。

「小特集 地方史研究と文書館の現在(いま)」も同氏への過去のインタビュー「草創期の地方史研究と文書館」を中心に、歴史研究と文書館の在り方や使命、方向性を追及し、同氏の業績、方法論を顕彰したものになっている。

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 15104-7149-6404

http://abikosisiken.main.ip

◇217 (通524) 2020.3 A4 16p

資料センター推進会だより 柴崎 川村(磯右衛門)家を訪ねました 東 日出夫 推進活動への私的見解 郷土資料館考 山崎 章藏

歴史部会 2月の活動報告 村越博茂会員「蒸気船からみる木下の明

治-交通の発達と木下の盛衰--

逆井 萬吉

古代史研究グループ 3月の活動報告 「房総における弥生時代の摂

取とその波及について 報告者:中嶋正義

中嶋 正義

我孫子市中里のオビシャ

近江 礼子

我孫子の社寺を訪ねる(37) 新木地区(3) 真栄寺

長谷川秀也

我孫子の社寺を訪ねる 社寺調査余話

千葉県における浄土真宗寺院

長谷川秀也

椎名宏雄氏(沼南・泉の龍泉院住職、市史研会員)の著作紹介

新刊 『沼南の宗教文化誌』

◇218 (通525) 2020.7 A4 4p

資料センター推進会だより

川村正信家文書が教育委員会の仮収蔵庫へ移動

東 日出夫

受贈図書の紹介/受贈図書出版案内

『東葛坂道事典』流山市立博物館友の会編

『伊勢国岸岡村と三谷三九郎家』三谷和夫著

三谷 和夫

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TellO43-251-1111 年4000円 1982年創刊 http://chibareki.blog.fc2.com

♦ 76 2020.5 A 5 160p

巻頭随想 「移民展示」の課題と可能性 原山 浩介 歷史随想 幕末の佐倉藩士 沼崎済介の足跡 長田 龍馬 心を病んだ兵士たちの記録―戦時下の国府台陸軍病院病床日誌 中村 汀里 自治体間連携の文化財普及・啓発事業 一南房総市における文化財活用の広域連携 岡山 亮子 特集 2019古代史サマーセミナー 古代の郡と郷をさぐる一下総国印旛の事例を中心に 仁藤 敦史 印旛地区と古代の里(郷) 服部 一降 下総国戸籍の概要と比定地 里舘 翔大 印旛地域の郡・郷と集落一印旛・埴生両郡を中心に 天野 努 「印波 | 龍角寺古墳群とその時代 白井久美子 印旛郡東岸・西岸の古代集落 加藤 貴之 印旛郡南岸の古代集落-下総国千葉郡山梨郷・物部郷の拠点集落 栗田 則久 佐々井地区の集落―長隈郷の特性を中心に 木原 高弘 討論要旨 参加記 荒井秀規/岩田董/坂口舞/佐々木雄介/立原潦平 一九五二年第二五回総選挙に見る戦前派代議士の政界復帰と支持基盤 ― 千葉県第一区と川島正次郎を事例に 車田 忠継 博物館から MUSEUM へ一日本の博物館の未来 十屋 雅人 新刊紹介 鈴木哲雄著『酒呑童子絵巻の謎―「大江山絵詞」と坂東武士』 外山 信司 佐倉史料叢書『佐倉古名鑑』:『史料集 佐倉藩幕末分限帳』 菅原 憲二 車田忠継著『昭和戦前期の選挙システム 千葉県第一区と川島正次 郎』 中村 政弘 千葉県高等学校教育研究会歴史部会編『新版 新しい日本史の授業 生徒とともに深める歴史学習 佐藤 兼理 見学記 国立歴史民俗博物館企画展示「ハワイ 日本人移民の一五〇 年と憧れの島のなりたち! 森北 信夫 参加記 千葉市立郷土博物館二〇一九年度特別展「海と千葉―海とと もに歩んだまち | 関連企画 稲毛地区歴史散歩 菅原 憲二

東京都

◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2 塩野谷明夫方 151048-465-7818

年5000円 1939年創刊 http://www8.ocn.ne.jp/~sanmin/

♦318 2020.6 B5 14p

表紙解説 松浦武四郎『十勝日誌』(安政五年)より

関 啓司

『石棒・石棒』小考(前編)

一石亭の「石之棒」と坪井の「いしのぼう」

関 啓司

粟ヶ岳の雪形(2) - 新潟県中央部

山﨑 進

山里だより(32) 放屁三題話一丹波美山から

西浦 左門

旅の草ぐさ(28) みちのくの果て一下北半島・西诵

杉崎満寿雄

資料(1981年度) (山村民俗の会・会員諸兄へ)

地方における熊野信仰調査のお願い

山村民俗の会事務局

◆**足立史談** 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TELO3-3620-9393

♦628 2020.6 A4 4p

昭和足立の芸術家 千住大川町の日本画家、池澤青峰 千葉さなと甲府

小林 優 あさくらゆう

文化遺産調査ガイドブック(2) 人物 谷文晁と写山楼の絵師

1 江戸の絵師たち (3)谷文晁の家 地域文化課文化遺産調査担当係

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 1至03-3620-9393

♦387 2020.6 A4 8p

故郷野澤で学童疎開と共に一児童と母の願い 野沢温泉常盤屋のご主 人が疎開の学童とご母堂ミツ様の遺された資料で綴られた学童疎開 の貴重な資料集です。

日本の教育改革(百年史編集委員会資料)(4)

編·堀川和夫

足立の先人譚 千住編・5 千住に地縁・周縁を結んだ人々 堀内亮

小泉武男氏論考 控え

「氏子札」/「穭(ひつじ)」/「擬革紙・煙草袋紙煙草入れ」 故 小泉武男 小泉健男氏がプロデュースした年賀手拭・絵はやはり史談会役員だっ た故長島弘二氏

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 12042-368-7921 1987年創刊

http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

♦132 2020.6 A4 8p

表紙 1964東京オリンピックと府中 その1 聖火リレーに向けて

聖火リレーの予行演習(1964年9月頃の撮影か)

1964東京オリンピックと府中 その1 聖火リレーに向けて 佐藤 智敬

最近の発掘調査 東府中で交差する道路を発掘 緑町3丁目 西野 善勝

NOTE 多摩川は、コロナ禍と府中

佐藤 智敬

府中の史料に見る江戸時代の流行病(1) 「見目定め」と言われた疱瘡

花木 知子

令和元年度 寄贈·寄託資料一覧/令和元年度利用状況

平成史に残る天文・宇宙イベント(5) 探査機はやぶさの熱狂 小林 善紹

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 15103-3355-4188

♦218 2020.6 A4 8p

催事スケッチ 山形県置賜地方の獅子踊り

燃えさかる火の輪をくぐる獅子 小松豊年獅子踊 写真と文・久保田裕道

儀礼文化研究会 令和元年度 第2回報告

モンゴル族の伝統音楽・歌謡"ホーリンウリゲル"の現代における

保護と継承についての考察

発表者,蒙古貞夫

中国南京市祠堂建築と儒教祭祀の伝承

一宗教の年中行事・人生儀礼に焦点を当てて

発表者・李 敏

緊急特集 新型コロナウイルス終息祈願 疫病退散の願い

写真と文・久保田裕道

会員を訪ねる 宮崎神宮/鵜戸神宮 レポート

儀礼文化講座(令和元年度第7回) 儒教

「『論語』と古札と 講師: 國學院大學教授 石本道明

儀礼文化セミナー(令和元年度第4回) 華道「天地人の花」 足立 雍子

◆市史研究きよせ 清瀬市

〒204-8511清瀬市中里5-842 清瀬市企画部市史編さん室市史係 TeLO42-497-1813 2016年創刊

♦ 5 2020.3 A 5 89p

口絵 『清瀬市史3 資料編 古代・中世』/きよせ懐かし写真館~市 役所庁舎

『清瀬市史3 資料編 古代·中世』刊行

戦後の清瀬市域における医療地区の政治的位置づけ及び都市化による

変化 黒川 徳男

市民が語る清瀬の歴史 「引揚者寮の子どもたち」—引揚経験者に聞く

現代部会

坏形土器からみる柳瀬川中流域の古代遺跡―清瀬市下宿内山遺跡・野

塩西原遺跡群・所沢市谷戸遺跡の出土土器

根本 靖

講演会報告 「清瀬の縄文ムラと中期縄文文化」谷口康浩考古部会長専門部会の動き 考古部会(活動報告、調査のポイント)/古代・中世部会(活動報告)/近世部会(市史編さんの作業、幕末熊本藩預り地になった清瀬市域)/近代部会(活動報告、「市民」の市史のために)

石碑・石仏探訪(3)

市制三十周年記念植樹記念碑 志木街道のけやき並木と元町三叉路の石仏群 栗山 究 齊藤 靖夫

◆石神井公園ふるさと文化館ニュース 練馬区立石神井公園ふるさと文化館 〒177-0041練馬区石神井町5-12-16 ™203-3996-4060

http://www.neribun.or.jp/furusato.html

◇37 2020.6 A4 4p

企画展「75年前に戦争があった一資料が語る戦時下のくらし」

関連イベント/同時期開催 ギャラリー展示「平和記念パネル展」

第8回ねりま手工業公募展 作品募集について/第8回ねりま手工芸 公募展/令和元年度寄贈資料

ふる文ニュース 分室コラム「詩人·木島始」/サポーターコラム「め ぐり合い」

◆自由民権 町田市立自由民権資料館紀要

〒195-0063町田市野津田町897 181.042-734-4508 1987年創刊

♦33 2020.3 A5 150p

《特集 明治期の憲法構想・立憲構想》

元老院国憲案に対する政治史的再考

久保田 哲

大隈重信憲法意見書再考

真辺 将之

明治二〇年代の立憲政体構想一明治憲法の改良・改正論を中心に 高島 千代

「日本帝国憲法」(「五日市憲法草案」)と斟酌して憲法・憲法草案比較表

松崎 稔

書評 中元崇智『明治期の立憲政治と政党―自由党系の国家構想と党

中編纂 西川中理花

民権ネットワーク

北海道 國岡 健 山形県 升川 繁敏 鈴木 吉重 福島県 飯塚 彰 茨城県 埼玉県 鈴木 義治 千葉県 矢嶋 毅之 福井 淳 東京都 多摩地区 松崎 稔 神奈川県 野崎 昭雄 新潟県 横山 真一 静岡県 加藤 善夫 愛知県 中元 崇智 滋智県 苗村 和正 大阪府 竹田 芳則 高知県 濵田 実侑 熊本県 水野 公寿 久米 雅章 鹿児島県 激化事件 田崎 公司 旧幕臣 樋口 雄彦 赤上 田中正造 文 学 松原 真

剛

自由民権運動関係文献情報(33)

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TelO3-3967-1948 年6000円 1993年創刊

♦110 2020.7 A4 6p

丸岡城天守は寛永五年造営か一福井工大の吉田純一氏が新説 令和2年度 大会のお知らせ 大会テーマ「近世城郭の成立から」 日本城郭史を書き換える「京都新城」の遺構を検出―本格的城郭づく り、秀吉最後の築城

箕輪城郭馬出西虎口門の復元など

最近の注目される城郭図書から 岩本誠城著『武田三代の城』、橋本 楯夫著『二条城の不思議?八連発』

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊 http://seikouminzoku.sakura.ne.jp

◇251 2020.6 B5 29p

地蔵流しの近・現代 松崎 憲三 上野浄名院の「うかがい地蔵」の巡行と「生身の地蔵」 林 京子 茨城県稲敷郡阿見町君島の祇園祭 近江 礼子 中山太郎旧蔵『廻在座頭勧化帳』の解説―『続日本盲人史』余話 星野 缶義 信濃町の今昔 大島 建彦

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 Tm03-3307-2146 http://daidogei.info

♦343 2020.6 A4 2p 100円

『教訓善悪小僧揃』

ガチャガチャたばこと是斉(定斉)屋

◇344 2020.7 A4 2p 100円

『日本大道芸事典』遂に刊行 思い入れや俗説を廃し逐一原典を確認 斯界の要望に応える必携の一冊 著者:光田憲雄

補足 ろくろ首/三井寺へ行こう/お七が菩提/枕の曲

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TeLO42-574-1360 年600円 1975年創刊 http://www.tamashin.or.jp

♦ 178 2020.6 A5 92p

《特集 多摩の歴史アーカイブズ》

国文学研究資料館と多摩の歴史アーカイブズ 大友 一雄 江戸の水害と上水一玉川上水濁り問題の模索 渡辺 浩一 天保の飢饉と村方の「救合力」一多摩郡後ヶ谷村杉本家文書から 太田 尚宏 秋川の鮎漁と留原村水串打ち毀し一件 西村慎太郎

一八六八年の「政権交代」と多摩地域―蓮光寺村富澤政恕の日記から

宮間 純一 洋風建築への誘い(67) 気になる建物たち 伊藤 龍也 建物雑想記(62) 尾根に建つ木造校舎 檜原村旧藤倉小学校 酒井 哲 古文書は語る(55) 鑓水商人の資産形成と商業活動

一大塚家文書「金子借用証文」より 馬場 憲一

多摩の金融史(12) 戦時期の立川信用組合―発展のルーツ

邉 英治

多摩の歴史を立体視! 一赤色立体地図の風景(5)

赤色立体地図で考える、大久保長安と八王子の治水

鈴木 泰

本の紹介

川勝賢亮著『武州拝島大師本覚院の歴史文化』

天野 宏司

パルテノン多摩編『刀鍛冶と文明開化 明治期・多摩の乞田鍛冶の

漁業に見る海外技術導入

國 雄行

宮本八惠子著『狭山湖一水底の村からの発信』

木村 立彦

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 MO3-3964-8548/〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 MO48-479-7490 年2000円 http://tias3.web.fc2.com

♦143 2020.7 A4 6p

廃線・敦賀港線で町おこし

文·写真 奥原一三

文献紹介 『江戸時代の薬箱』 服部昭著 風詠社

多田 統一

産業遺産センターの展示物の紹介―時空間の絶妙な構成、人とモノ、

技術と経営の程良いバランス

多田 統一

日本赤煉瓦建築物番付 栃木県場所 令和元年九月《ベスト30》

選定日:2019.09.2

シンポジウム「近代岡山の偉人伝 殖産に挑んだ人々」(学会後援イベント) 第1回「明治の才覚たち」2020年8月20日 14時~16時30分(予定)

新刊紹介

『麻の糸・布と腰機』 編集・発行:はたや記念館ゆめおーれ勝山 平井 東幸 茨城県下妻市の赤煉瓦建築物(1)

「江連用水旧溝宮裏両樋」(1)

文·写真 八木司郎

◆東京の文化財 東京都教育庁地域教育支援部管理課

〒160-0023新宿区西新宿2-8-1 12103-5320-6862 1979年創刊

♦ 128 2020.3 A4 8p

東京都指定文化財の新指定 東京都指定有形文化財(建造物) 旧赤坂 仮皇居御会食所(明治記念館本館)、東京都指定有形文化財(建造物) 旧本田家住宅、東京都指定有形文化財(彫刻) 木造慈恵大師坐像、東京都指定有形民俗文化財 多摩川中流域の船大工用具、東京都指定名勝及び史跡 牧野記念庭園(牧野富太郎宅跡)

文化財を後世に伝えるために〜紙本墨画淡彩鍾馗図の修理を例に 文化財を活かす(豊島区) 豊島区指定有形文化財 旧鈴木家住宅 文化財を活かす(福生市) 旧ヤマジュウ田村家住宅の活用 遺跡の価値を将来に伝える 発掘調査の記録を作る!

◆練馬郷十史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 Tel.03-3977-3091 1956年創刊 ◇377 2020.7 A4 2p

練馬の城を往く(24) F屋敷(練馬区内各所)

八巻 孝夫

高札場 3月例会 南田中・石神井川周辺の史跡巡り/5月例会 新緑の秩父札所巡り(3)

◆ねりまの文化財 練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係 〒176-0012練馬区豊玉北6-12-1 1元03-5984-2442 1988年創刊 ◇106 2020.4 A4 6p

令和元年度新規の指定・登録文化財 永享八年の夜念仏板碑(指定有 形民俗文化財)、旧見留家納屋(登録・指定有形文化財)

練馬区指定文化財一覧 $(N_01\sim48)$ / 練馬区登録文化財一覧 有形文化 財 $(N_01\sim121)$ 、無形文化財 $(N_01\sim5)$ 、有形民俗文化財 $(N_01\sim46)$ 、 無形民俗文化財 $(N_01\sim28)$ 、史跡 $(N_01\sim14)$ 、名勝 (N_01) 、天然記念 物 $(N_01\sim11)$

永享八年の夜念仏板碑

板碑とは/夜念仏板碑/夜念仏とは/「永享八年の夜念仏板碑」

◆府中市郷土の森博物館紀要

〒183-0026府中市南町6-32 『mL042-368-7921 1988年創刊 http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

♦33 2020.3 A4 30+85p

板碑からみた私年号「福徳」の受容

深澤 靖幸

本宿小野宮 内藤治右衛門家文書「伊勢参宮心得草」

- 史料翻刻と内容紹介

近藤 絢音

「くらやみ祭」の古層へ(2) 大國魂神社例大祭「潮盛り」神事から 小野 一之 くらやみ祭における提灯の役割と歴史―番場町を事例として 下村 盛章 備忘録「商家の歳時記と私」と町のくらし

一大室智夫ライフヒストリー(2)

大室智夫/佐藤智敬

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 大日方研究室内 1962年創刊

◇99 2020.5 B5 110p 1750円

《特集 民衆の視点から「天皇」を考える》

特集にあたって 民衆史研究会委員会

中世の駕輿丁と行幸

幕末期の天皇・朝廷権威と民衆

―神武天皇陵への勅使参向をめぐる動きを中心に 上田 長牛 皇室と国民―神楽村御料地争議(1920~1924年)再論 加藤 祐介 仁藤 敦史

コメント―古代王権論からみた天皇の位置付け

討論要旨 菅田 寛也

書 評

今津勝紀著『戸籍が語る古代の豪族』

里舘 翔大

齊藤紘子著『畿内譜代藩の陣屋と藩領社会』 小松 賢司 2020年代の百姓一揆研究に向けて一若尾政希著『百姓一揆』 林 進一郎

伊東久智著『「院外青年」運動の研究―日露戦後〜第一次大戦期に

おける若者と政治との関係史--』 水谷 悟

佐々木啓著『「産業戦十」の時代―戦時期日本の労働力動員と支配

秩序— 大串 潤児

新刊紹介 永嶺重敏著『歌う大衆と関東大震災「船頭小唄|「籠の鳥|

はなぜ流行したのか 清水 覧磨

参加記 牧原憲夫を語る会~著作選集出版を記念して

藤井なつみ

西山 剛

会務記録 2019年度総会の記録

民衆史研究会委員会

◆民俗建築 日本民俗建築学会

〒162-0843新宿区市谷田町2-33 法政大学デザイン工学部建築学科内 TelO3-5228-1496 年9000円 http://www.folkhouse.org

♦157 2020.5 B5 81p

扉絵 千葉県夷隅郡御宿町 享保14年から酒浩業「岩の井」を営んで

きた岩瀬能和家主屋 2017年9月30日 道塚 元嘉

巻頭言 創立70周年を迎えた日本民俗建築学会

杉本 尚次

2019年度大会発表研究論文

新床暖房材による冷房効果の研究―アクアレイヤーの実験 朴 賛弼

置屋根が冬の室内環境に与える効果について 金田正夫/出口清孝

インド・グジャラート州カッチ地方の民家 佐藤 正彦 2019年度秋のシンポジウム報告 一般社団法人日本民俗建築学会2019 年度公開シンポジウム 海と漁業―漁村家屋にみる文化的景観

コーディネーター・河原典史

2019年度秋の見学会報告 丹後の漁村家屋にみる文化的景観 佐藤 弘隆 民俗建築アーカイブ(18)

広島県比婆郡北部の古民家(その2 荒木家住宅)

研究会報告 敦賀半島の産小屋にみる空間的、時間的隔離

板橋 春夫

One Shot Minka(26) 西表島の古民家

朴 賛弼

会員活動情報 写真資料の寄贈

朴 替弼

新刊紹介

『京都人が知らない京町家の世界』 大場修著

出口 清孝

『春夏秋冬のある暮らし』 金田正夫著

古川 修文

『富士市の近代産業遺産調査報告書』石川薫建築設計事務所

石川董編

朴 替弼

文献紹介 単行本・報告書・論文

事 務 局

◆明治維新史学会だより

〒261-0014千葉市美浜区若草1-4-1 神田外国語大学 町田明広研究室 2004年創刊 www.ishinshi.ip

◇27 2020.7 B5 13p

小特集 自然災害と資料保存

資料ネットによる地域資料の保存と災害対応-2019年の台風・大雨

による千葉県内の資料被災と対応の現状

小関悠一郎 天野 真志

資料保存と災害

例会報告要旨

旧庄内藩の禄制改革-「分知」の検討を中心に

林 幸太郎

相撲は廃止の危機にあったのか

―明治零年代における相撲の位置づけ

ルーベックイアン栄

「船中八策」考一土佐明治維新史形成過程の一事例として

知野 文哉

近世後期大名家における身分的階層と役職任用

梁 媛淋

神奈川県

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 1210465-22-8852 年3000円 1961年創刊 http://odawara-shidan.hustle.ne.jp **♦262** 2020.7 A4 32p

二宮尊徳の壹圓券(上) なぜ尊徳が選ばれたか 深野 彰 中勘助と小田原謡曲事情 木内 英実 小田原の郷土史再発見 北原白秋が愛でた居神神社の祭り囃子 石井 啓文 謎に包まれた寛永诵宝・藤沢銭―キーマン須藤平蔵を追う 関谷 満 「北条五代記」(1) 伊豆早雲平氏茂由来之事 勝 四郎 コロナなんか怖くない!一片岡日記を読む会六ヵ月の記録 松島 俊樹 片岡日記 昭和編(21) 昭和5年4月~7月 片岡永左衛門 令和2年5月 書面総会 報告 青木 良一

◆小田原地方史研究 小田原地方史研究会

〒250-0011小田原市栄町3-13-21 井上弘方 1€10465-22-5862 1969年創刊
◇30 2020.6 B5 108p 950円

『小田原地方史研究』第30号刊行にあたって

『北条五代記』にみる『山上宗二記』の情報について 梯 弘人 鎮守祭礼の担い手を考える一相模国の近世を事例に 下重 清 明治維新と報徳仕法の継続問題 松尾 公就

明治中期の御殿場地方における報徳社の展開について

一御厨報徳社を中心に

切りがある。

坂井 飛鳥

アジア・太平洋戦争期の少年団一小田原市本町国民学校の少年団訓練

井上 弘

南金目の考古学者森照吉が収集した考古遺物について 書 評 津田 守一

小田原城総合管理事務所編・小和田哲男監修『戦国大名北条氏の歴

史―小田原開府五百年のあゆみ』

浅川 徹

下重清『シリーズ藩物語 小田原藩』

桐生 海正

戦時下の小田原地方を記録する会編『未来へつなぐ小田原の戦争体 験』

羽田 博昭

◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1 1至045-364-4456 1994年創刊 https://archives.pref.kanagawa.jp

♦42 2020.4 A4 4p

写真で見る城ヶ島大橋

歴史的公文書に見る地名の記録 企画展示「神奈川の地名」から

高座郡鶴見村/ユーシン渓谷/高座郡座間町/三浦郡逗子町 齊藤 達也

毛利庄厚木郷の資料を読む一古文書講座で紹介した資料から 渡辺 真治

業務検証委員会の提言を踏まえた業務改善

閲覧制限の審査木銃の制定/規則の改正/評価選別基準の改正

◆京浜歴科研年報 京浜歴史科学研究会

〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12 大湖賢一方 151.045-825-3736 1987年創刊 http://www.asukawa.com/rekika/r001r01.thm

♦32 2020.2 B5 41p

巻頭言 全国みんけん連の発足

伊東 富昭

嘉末の廷臣警衛

野村 晋作

現代国家論ノート

奥田 晴樹

◆コロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

♦162 2020.8 B5 6p

三遠信美流れの結節点-限界の山村暮らしから(10)

豪農古橋家と「斯民 編集主宰・報徳会講師 井口丑二との交流 西海 賢二

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下 1 階 TELO45-251-3260 2008年創刊 https://www.city.vokohama.lg.ip/city-info/vokohamashi/gaivo/shishiorvo/ **♦38** 2020.7 A4 12p

六角橋、近郊農村から街へ―「山室周作日記」に見る

百瀬 敏夫

YOKOHAMA一戦後の風景

羽田 博昭

第一次オイルショック前後の物価問題と横浜市民

一飛鳥田市政の物価対策を中心に

金 耿昊

関連資料紹介

横浜市住民運動連合『主婦がつくった物価地図』(1974年8月) 金 耿昊 市史資料室たより 令和2年度横浜市史資料室展示会「六角橋、近郊 農村から街へ-「山室周作日記」に見る移り変わり」(仮題)、展示 関連講座 近郊農村として大正初期の六角橋(仮題)

◆自然と文化 平塚市博物館研究報告

〒254-0041平塚市浅間町12-41 1至0463-33-5111 1977年創刊 http://www.citv.hiratsuka.kanagawa.ip/museum/

♦43 2020.3 A4 74p

神奈川県におけるハルゼミの生息状況調査(2019年)

堀田佳之介/平岡幼稚園「平岡いきものはっけん隊」

米軍のコロネット作戦に対する日本軍の防衛-大磯地区 市原

2019年の流星分科会の活動報告 藤井大地/天体観察会流星分科会

2019年の流星観測 藤井 大地 2019年の太陽黒点 鳫宏道/塚田健/藤井大地

多摩市豊ヶ丘地区で掘削されたボーリングコアに基づく多摩丘陵西部

の地下地質 野崎 篤

近世丹沢山地の景観と環境

早田 旅人

◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館4階 TELO44-812-1106 1993年創刊 http://chimei.people.co.ip

♦97 2020.7 B5 6p

「消えた国」と地名改変、疫病のことなど 日本地名研究所所長 金田久璋 地名から見た感染防止の神々 宮城県地名研究会会長 太宰幸子

「八木 | 地名の語源は? 新潟県地名研究会 土井清史

日本地名研究所に望む 昭和56年10月22日付 溝口宗右書簡

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 Тед0465-22-8852

年2500円 2003年創刊 http://hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/

◇68 2020.6 A5 124p 500円

翅を切ったらトンボはどう飛ぶのか 宮原 諄二

小説―幕末銀板写真倶楽部 ポトゲラヒ(1) 荒河 純 淀殿は死んだのか

今川 徳子

酒匂だより 「自粛の中で」 町田紀美子

尾上 武 青木村の仕法(2) 新たな課題の克服

続・ボクの映画館(22)

葉室麟・小泉堯史のコンビによる「蜩(ヒグラシ)ノ記| 平倉 正

加藤 三朗 楠若葉 佐宗 欣二 レモン一個

中村吉右衛門と尾上菊之助 田中 豊

関東十八檀林記(11) 向山と瓜連の常福寺 青木 良一

私説 皇道派将校の聲は届かず! 二・二六事件異聞(1) 芳賀喜久雄

茂木 光春 失われた日本人(3) 恵心僧都

◆藤沢市史研究 (続)藤沢市史編さん委員会

〒251-0054藤沢市朝日町12-6 藤沢市文書館 ™10466-24-0171 1970年創刊 ◇53 2020.3 A5 72+17p

史料紹介 幕末維新期遊行寺領西村の事件簿

石井 修

講座報告 広重と藤沢宿 「八朔御馬献上之行列図」の下絵紹介 池内 俊雄藤沢市史編さん日誌Ⅲ 1986(昭和61)年から1988(昭和63)年

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊

◇627 (53-3) 2020.6 A5 24p 350円

天草の信仰における物質文化とカクレキリシタン

大田黒 司

渡邊 浩貴

中世舞楽面と雨乞儀礼一相模国大住郡下糟屋村の髙部屋神社を事例に

 $\overline{}$

書籍紹介 『文化財の活用とは何か』 國學院大學研究開発推進機構学

術資料センター編 角南聡一郎

◇628 (53-4) 2020.7 A5 24p 350円

餅の風流—加賀北部における紅白鏡餅飾りの実態 前編

大門 哲

神崎宣武の民具研究―シリーズ 民具と出会う(9)

樫村 賢二

書評 加藤幸治著『渋沢敬三とアチック・ミューゼアム』

丸山 泰明

書籍紹介 宇田哲雄著『キューポラの町の民俗学―近代鋳物産業と民

俗』

宇田哲雄/川口市教育委員会

新潟県

◆ふるまち良寛てまり庵通信

〒951-8063新潟市中央区古町通2-538 1至025-378-2202

http://www.kokodo.co.jp/ryokankai/temarian/

◇28 2020.7 A 4 6p

表紙 良寛書「忍 是功徳 本」(忍は、是功徳の本)

「辻美佐夫―良寛遺愛の品模刻展」紙上解説会 良寛遺愛の品を模刻

して ①「鉢の子」、②「笏」、③鍋蓋「心月輪」、④「枕地蔵」、⑤

竹の「百人一首」、⑥「山形爛藤」の杖と「兎の手鞠」

良寛百態

高橋郁丸・画

付録 良寛遺墨シート 「報無乃数起當耳 知可羅能那以爾末知留十

五夜耳 安面可布流」良寛書

解説・小島正芳

言霊 各慎其身莫效非(良寛書「地震後作」より) 一期一会

新潟良寛会

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内 TelO25-222-2262 1978年創刊

♦169 2020.7 A4 16p

「和上執筆」(棟方志功・画) むなかた・しこう(明治36年~昭和50年)

(出雲崎良實記念館所蔵)

リレーエッセイ 良寛つれづれ(18) 良寛の生まれた出雲崎町 永寶 卓 良寬遺墨鑑賞(17) 菓子屋三十郎宛書簡 白雪羔少々 小島 正芳 小島 正芳

折々の良寛(58) 良寛「法華讃」のすすめ(5)

全国良寛会玉島大会は再延期します

第43回全国良實会玉鳥大会実行委員会,全国良實会

事務局からの御知らせ「三月の役員会と今年度の総会議事について」

各地良寛会だより(10) 良寛さんの心を学ぶ会の巻 良寛の人となり

を学習 『法華讃』挑戦で一層の理解を進める 小林 鉄夫

相馬御風の良寛(18) 大酒飽淫は一命を切る斧なり 金子善八郎

良實 坐禅の詩 素描 吉田 福恵

良寛の「寂寥」 山上 健 佐藤耐雪翁の良寛研究 加藤 僖一

国民文化祭にいがた「詞フェスティバル」

良寛関係の入賞・入選作品の紹介 その二 短歌 本間 明

「良寛椿」を元気な姿に~植樹祭に思う

早川 正弘

新刊紹介 詩集『かたみとて何か残さむ~良實思慕~』黒羽由起子詩

考古堂 2000円+税/「良寛シリーズ」全三冊の完結編『良寛一人

と書芸術の完成』小島正芳著 考古堂刊 1500円+税 柳本 雄司

会報・会誌紹介 富山良寛会会報第31号、しばた良寛会だより第31号

(新発用良寛会)/「良寛だより」一六九号目次(令和二年七月一日記)

富山良寛会 吉井 清一

良寛を訪ねて(18) 索索五合庵(燕市)(上)

石川県

◆加南地方史研究 加南地方史研究会

〒923-0903小松市丸の内公園町 小松市立博物館内 1至0761-22-0714

1955年創刊 http://kananchihoushi.com

♦67 2020.3 B5 91p

近世小松の災害-水害 山前 圭佑 学習指導要領の変遷と各学校の取り組み(2) 橋本 正準 石川県小松市浮柳町の記録 岡田 孝 「熊坂長範」出版後寄せられた手紙と関心 池端 大二 小松市立博物館にある公衆電話でトトロと話そう 犬丸. 博雄 『菟橋神社』を考える 岸 豊則 「幻の東京五輪」前のスポーツ界を北陸の片隅から 橋本 巖夫 寛永十九年小松のくにやおどり 村井奈緒子 伊能忠敬の南加賀測量 室山 孝 亀淵亀次郎の漢詩集 綿抜 豊昭 史料紹介 陰徳記第三(明治記) 浅田 三郎 報告 青空教室(松阪方面)感想文 飯田千代美 青空教室の報告 石黒 有生 青空教室に参加して 尾坂 泰子

「第二五回寺町サミット in 小松」に参加して 「蓮如上人御影道中」で出会った千代尼

会員消息

松阪を巡って

受賞おめでとう 山前圭佑氏に小松市文化賞 橋本 正準 小松市文化賞をいただいて 山前 圭佑 「運転免許証」返納 岸 豊則

久保 文子

坂山 宗嗣

竹田外喜男

◆加能民俗 加能民俗の会

〒920-0963金沢市出羽町3-1 石川県立歴史博物館内 TeL076-262-3236 年4000円 1950年創刊

♦163 (12-21) 2020.3 A5 11p

 追悼
 橋礼吉先生を偲んで
 小林 忠雄

 廓の俗信雑考―ジャーナリズムと民俗(八)
 大門 哲

新刊紹介

干場辰夫著『「日本文化論」を越えて一加藤周一「土着世界観」論

とその行き先』 由谷 裕哉 塚林康治著『しょうぶ湯は女のまつり―七尾の習俗 3』 大門 哲

山梨県

◆地域と社会 佐藤弘

〒402-0005都留市四日市場902-3 2017年創刊

♦ 7 2020.6 B5 22p

受入れ地域側の学童疎開資料の所在

一昭和と平成の大合併後の状況下で 寛文の上谷村検地帳にみる水かけ麦

蒲原まゆみ 金田準之助

長 野 県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 1至0265-53-4670

http://www.citv.iida.lg.ip/soshiki/39/201700601.html

♦106 2020.6 A4 4p

飯田市歴史研究所と旧支所文書調査

太田 仙一

飯田市歴史研究所2020年度研究計画/第5期中期計画の策定作業を進

めています

特集 歴研と私 歴史研究所設立の思い出

古井 武志

明治初期の川路の地引絵図―史料紹介

福村 任生

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 1至0265-22-6017 年5500円

◇1106 (68-7) 2020.7 A5 50p 550円

《考古学特集》

口絵 松川町馬坂、竹越遺跡の大型礎石遺構

酒井 幸則

信濃の富豪層

桐原 健

高校生の考古学研究

市澤 英利

国史跡恒川官衙遺跡における近年の発掘調査の状況

坂井 勇雄 小林 正春

ヤマト王権と伊那谷 平成31. 令和元年下伊那考古学年報

小林 正春

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 1至0265-73-5538 年5000円

◇761 (64-6) 2020.6 A5 40p 500円

《自然特集》

伊那谷のキツツキ類―民俗の窓を通して(38) 吉田 保晴 上伊那の豊かな自然をいつまでも一ミヤマシジミと共に 岡村 裕 戸台の化石(2)一戸台のアンモナイトは多属種(1) 北村 健治 上伊那にある、奥三河石工が彫った石仏・石塔について(2) 菩薩の石仏 伊折 俊夫 桃澤 匡行 島木赤彦・芦部猪之吉と飯島 図説・上伊那の民俗(36) ワサビ田(南箕輪村塩ノ井) 三石 稔 徒然さんぽ(10) 日蓮宗感應山深妙寺 伊那市西春近小出 絵と文・吉田勝美 ◇**762** (64-7) 2020.7 A5 40p 500円 三峰川通りにおける安政国役御普請(1) 春日賢太郎 藤村の「水車塚 | 碑 建立の経緯を探る 一碑は藤村の蜂谷家への感謝であり蜂谷義一の頌徳碑でもある 前沢 明夫 古文書の窓(153) 高遠藩の御林 切り株に極印 三浦 孝美 図説・上伊那の民俗(37) 墓掃除(飯鳥町) 三石 稔

◆信 濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 1510263-58-1213

http://www.shinano-shigakukai.jp

徒然さんぽ(12) 津島神社 宮田村

書籍紹介 『高遠石工の巡礼ガイド 上伊那南部編』

◇845 (73-6) 2020.6 A5 82p 1150円

《考古学特集号》

近世飯田町の火災復興と消防体制 伊坪 達郎 学際的に考える洪水一戌の満水について 青木 降幸 陸軍第十五師団歩兵第十七旅団機動演習 伊藤 修 男神像の発見から牛伏寺遷座まで一『牛伏寺誌』発刊後の動向 浜野 安則 古代の善光寺について考える(追補) 石川 勝義

◇846 (73-7) 2020.7 A5 94p 1150円

《隣県特集号 隣県地方史学界の動向―平成31年・令和元年(2019年)》

堀口智彦/根ヶ山泰史/榎本博 埼玉県地方史研究の動向 鹿島昌也/松山充宏/尾島志保/森俊 富山県地方史研究の動向 山梨県地方史研究の動向 上野桜/西川広平/髙橋修 新潟県地方史研究の動向 石原正敏/浅井勝利/田嶋悠佑/渡部浩二/荒川将 群馬県地方史研究の動向 升木 幸男

愛知県地方史研究の動向 浅岡優/神谷智/石田泰弘/上田早織/山下廉太郎 岐阜県地方史研究の動向

絵と文・吉田勝美

宮下 明子

長野県地方史研究の動向 櫻井秀雄/福島正樹/市川包雄/田玉徳明/田澤直人 速報 本会が信毎賞を受賞

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会

〒386-0024上田市大手2-7-13 上小教育会館内 TeL0268-24-2182 年3000円 1974年創刊

♦172 2020.6 A5 64p

上田市公文書館資料にみる地域史の一端(2) 倉澤 正幸 上田盆地北部の城砦群一東太郎山から虚空蔵山まで 尾見 智志 郷土史随想 「白亜の上田城」は本当か 寺島 隆史 窓 用水開発の学習一どこに力点を置くのか 青木 忠幸 窓 地域の子どもは地域で守り育てる 宮島 信明 地区だより 小諸地区 「新町区・歴史的遺産を守る会」の活動 牧野 和人 連載講座 古文書解読講座 第163回 倉嶌 勝夫 扉写真と解説 喜内様阿福様の木像 懐古神社所属小諸徴古館所蔵 牧野 和人

◆松本市史研究 松本市文書館紀要

〒390-1242松本市和田1058-2 181026-347-0040 1991年創刊

♦30 2020.3 B5 114p

弘法山古墳・覚え書 桐原 健 宝永四年の武士の引越事情と後日談 菊入三樹夫/上條泰子 城山公園はいつから公園になったのか 小山 泰弘 陸軍松本飛行場―松本市域への陸軍航空部隊・機関の展開 原 明芳 今はなき赤煉瓦の「旧山崎歯科医院」に寄せて 米山 文香 史料紹介 松本市文書館・立石家文書について 梅干野成央

静岡県

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室 年4000円 https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com

♦502 2020.7 A4 4p

7月例会レジュメ 朝鮮人強制労働の歴史と現在 竹内 康人 史料紹介 静岡鉄道の久能廻り路線図 桜井 正雄 オンライン例会行います。 事務局

◆静岡県地域史研究 静岡県地域史研究会

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

♦231 2020.7 B5 4p

愛 知 県

◆あつた 数田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 1至052-671-4151

http://www.atsutaiingu.or.ip

◇266 2020.6 A5 40p

熱田雑集(22)(終)

奉納和歌に見る熱田信仰(4)一大君の御代守ります宮ぞ尊き

辻村 全弘

太田 正弘

創祀千九百年記念造営事業の回顧(23)

小久保雅広

◆年報 中世史研究 中世史研究会

〒464-8601名古屋市千種区不老町 名古屋大学文学部日本史学研究室気付 TEL052-789-2228

◇45 2020.5 A5 230p 2000円

シンポジウム「佐藤進一の軌跡―いま、「中世国家」を問う―|

趣旨説明

佐藤進一の鎌倉幕府政治史研究について 近藤 成一 佐藤進一氏と「王朝国家」論 遠藤 珠紀 室町幕府と中世国家 水野 智之 中世法と中世国家一中世法制史料集』をめぐって 渡邉 正男 討論記録

追 悼

 佐藤進一先生を偲ぶ
 清田 善樹

 佐藤進一先生を偲んで
 金龍 静

 偉大なる『アルチザン』のおもいで
 小林 保夫

 岩波文庫『日本の中世国家』の解説を担当して
 五味 文彦

 名古屋時代の佐藤先生
 玉井 力

 佐藤進一先生を偲ぶ
 外岡慎一郎

 追悼 佐藤進一先生
 三鬼清一郎

畠山政近の動向と畠山中務少輔家の展開 北条「九代」考

山名教豊・是豊兄弟の政治的位置

 田辺
 旬

 伊藤
 大貴

川口 成人

史料紹介 国文学研究資料館所蔵『春日御遷座御帰坐日記』(法隆寺記録) 土山祐之/

业人

土山祐之/藤原重雄

書 評

稲葉伸道著『日本中世の王朝・幕府と寺社』

小原 嘉記

鹿毛敏夫・坪根伸也編『戦国大名大友氏の館と権力』

石井 伸夫

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市東区徳川町1001 TeL052-935-2173 1980年創刊 http://housa.city.nagoya.jp

♦99 2020.6 A4 8p

蓬左文庫本『日次記』 紅葉山文庫本『日次記』/慶應義塾大学図書館 所蔵『日次記』/東方朔占書分類本『日次記』/ウェブサイトの開設

廣瀬 憲雄

企画展「怪々奇々一鬼・妖怪・化け物…」

徳川美術館本館 秋季特別展「殿さまが好んだヨーロッパー異国への まなざし」

宿場町・鳴海の祭り今昔(1)

蛤地蔵の大般若/成海神社の御船板流し神事

井上 善博

表紙 花屋抄(カクオウショウ)

慶福院花屋玉栄著 4冊 慶長8年写 25.0cm×17.8cm

末松 美咲

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛西市塩田町砂山25 1m10567-37-0441 年5000円

http://www.wa.commufa.jp/matsuri/

◇608 (60-4) 2020.7 B5 8p 600円

表紙写真のことば

竹原神社アワアワ祇園 茨城県小美玉市竹原 7月第3土曜日曜 坂本 要 尾張富士石上げ祭と玉石採取 服部 誠 愛知県東栄町 古戸のシカウチ行事と御神楽 天野 卓哉 名古屋名物「ういろう」考 石田 泰弘

新刊紹介 清内路の手づくり煙火-南信州の煙火文化

滋賀県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊 http://www.biwako-arts.or.jp

◇172 (44-3) 2020.7 B5 88p 600円

《特集 湖国と戦争一戦後75年、今、伝えたい》

カラー

プロローグ

戦争の時代 伝える197枚 瀬田国民学校五年智組の学級日誌

1944~1945 八百板一平

滋賀県の主な戦争遺跡地図

編集部

"地の塩"を育てるということ 学級日誌と二人の先生

吉村 文成 北原 治

湖国に落ちた模擬原爆 「大津7時40分 | と「広島8時15分 |

県民9万人が送られた戦地

水谷 孝信

戦争遺跡は語る 陸軍八日市飛行場遺構(東近江市)/比叡山「桜花」

訓練基地(大津市)/郷軍八幡射撃場(近江八幡市)/大津海軍航空隊

遺構(陸上自衛隊大津駐屯地)/10ページの戦争遺跡地図の説明 水谷 孝信 誰がために鐘は征く 近江の梵鐘を守った文化財技師 井上 優

学級日誌の言葉 表紙から9ページまでの読み下し文 『1944-1945 少女たちの学級日誌 瀬田国民学校五年智組』(偕成社、解説/吉 村文成)より

インタビュー 湖と生きる 田上郷土史料館館長 東郷正文さん

モノ語る先人の労苦と知恵と愛

聞き手・三宅貴江/写真・中村憲一

コロナ禍と文化

新型コロナ禍 文化の黄昏としないために

江川 紹子

オペラの枠越え、共感のリング

佐藤 千晴

カラーグラビア

海から京へ古の大動脈

塩津港遺跡「琵琶湖と船 にほんの巨船伝説」

祭の美 祈りのかたち(6) 水無月祭の茅の輪(蒲生郡竜王町岩井)

湖国の四季を駆ける鉄道(8)最終回 追悼・清水薫さん 辻 良樹

海から京へ 古の大動脈 報告・塩津港遺跡(4)

船舶史をリードした琵琶湖

横田洋三/横田洋三

森が来た道(4)

琵琶湖と森林・林業一総合開発事業から保全再生法へ

水田有夏志

大月 英雄

歴史の玉手箱(16) 明治・大正期の公文書管理 大 近江の懐(ふところ)(14) 堅田と仰木 堅田散歩(加藤賢治)/仰木

の杜(石川亮)

加藤賢治/石川亮

万葉の旅人(4) 艶事と戦史を秘めた不知哉川 文と曲・林博通/画・鈴木靖将 ぶらり近江はっけん伝(13) 京都から大津へ、小関越えを行った。 岸野 洋 北から南から

情報で「つながりと未来」を応援 街の緑と花の「守り人」たち 大地とともにある暮らし、湖北の「わ」 大津湖岸なぎさ公園で憩いのひととき 大塚佐緒里 辻川 育子 長澤由香里 小松谷千絵



*「特集 湖国と戦争一戦後75年、今、伝えたい」は、本土決戦が迫る中での大津への模擬原爆投下や守山空襲などの被害、陸軍八日市飛行場や野田沼捕虜収容所などの軍事施設があったにもかかわらず、語られることの少ない湖国の戦争を振り返るものである。

グラビアで紹介される八百板一平「戦争の時代 伝える197枚」は、瀬田国民学校(現在の大津市立瀬田小学校)の5年生だった少女たちが、1944年から45年にかけて綴った188日分、197枚の絵入の学級日誌である。薙刀の訓練、出征兵士の見送り、空飛ぶB29に向けて「にくいにくいB29今に見ていろこの戦い」など、戦争に協力し、勝利を信じる少女たちの率直な思いが記されている。当時少女たちを指導した女性教諭は、本や雑誌は手に入らず、ラジオや新聞が戦争一色になっていくなかで、子どもたちの表現力を延ばしたいとの考えから、「文化がないなら、文化をつくろう」と、絵入の学級日誌を思い立ったのだという。もんぺや防災ずきんは、せっかくなら憧れの色でと、赤や紫など実際とは違う鮮やかな色で描かれている。日誌はB29を記した日で打ち切られる。教諭はその理由を明かさなかったが、日誌を書いた当時の一人の少女は、日誌に過激な言葉が増え始め、

「これ以上続ければ、私たちが戦争や憎しみの心に染まってしまうように思えて、 恐ろしかったのでしょう | と回想している。

日誌は、「子どもたちが、戦争の時代について知り、みんなと仲良く暮らすために役立ててほしい」との思いとともに引き継がれ、現在は、大津市歴史博物館に収蔵されている。

◆戦国史と人 女風林火山 戦国史と人を学ぶ会/武田勝頼・松姫探究会 〒520-0528大津市和迩高城289-11 首藤義之方 年1400円 1987年創刊 ◇65 2020.7 B5 78p

《特集 佐々木六角氏と信長・秀吉・家康(下)》

明智光秀の前半生と佐々木六角義秀(1)

一誕生から土岐明智頼明・定明と土岐頼芸の家臣時代

首藤 義之 首藤 義之

天海(徳川家康の側近僧侶)の正体は佐々木箕作義治説(前編)

京 都 府

◆史迹と美術 史迹美術同攷会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内 TeL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 https://www.shibikai1930.com

◇905 (90-5) 2020.6 A5 32p 916円

道成寺安珍清姫物語異説繪

村上 泰昭

聚楽第余聞(1)

国宝「大徳寺唐門」の素性―尼崎本洛中洛外図を読み解く 加藤 繁生

高野山円通寺八万四千塔発見の報に寄せて

木下 浩良

第1064例会 宇陀市室生寺と周辺特別一回「石造美術勉強会」報告

飯道神社を始めとする滋賀県甲賀市の史跡と石造美術を訪ねる 尾崎 洋之

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

♦ 70 2020.7 A4 7p

創立20周年記念連続講演会について 講演1 山田邦和氏「京都の天皇陵と地名」(同志社女子大学現代社会学部教授)、講演2 工藤力男氏「倭名類聚抄と地名」(成城大学名誉教授(国語学・古代音韻論)) 地名随想

壬申の乱ゆかりの地名

打出浜の感傷

中島 正 入江 成治

第39回 全国地名研究者利賀村大会について

日本地名研究者

『近江の地名』の送付について 京都地名研究会編著 『近江の地名』編集委員会 江戸っ子の見た京一弥次・喜多の場合(1) 『東海道中膝栗毛』 内山 久志

◆洛北史学 洛北史学会

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5 京都府立大学文学部歴史学科内 TEL075-703-5259 1999年創刊

◇22 2020.6 B5 103p

祇園御旅所と「とミくばり」の近世―大経師降屋内匠以前 村上 紀夫

中世前期東大寺の修学振興と学侶

郭嵩燾の西洋認識―「附会」論と文明観を手掛かりに

三輪 眞嗣 苗 婦

書 評

本木邦彦著『海辺を行き交うお触れ書き 浦触の語る徳川情報網』糸川 風太 白河哲夫・谷川穣編『「甲子園」の眺め方―歴史としての高校野球』若林 正博 岡本隆司著『近代日本の中国観―石橋湛山・内藤湖南から谷川道雄

まで』 佐藤太久磨

新刊紹介

阿部拓児訳『クライシス ペルシア史/インド誌』 酒嶋 恭平

高埜利彦編著『近世史研究とアーカイブズ学』 大関 美沙

宮地正人著『天皇制と歴史学―史学史的分析から』 西明 正晃

第21回洛北史学会大会報告要旨 大会テーマ「現代都市祭礼の系譜」

行列風流としてのホコ 福持 昌之

祇園祭と「とミくばり」の近世 村上 紀夫

描かれた祇園祭、写された祇園祭

一絵画、古写真から読み解く祇園祭の歴史と展開 八反裕太郎

討論(概要)

第21回洛北史学会定例大会報告要旨

松浦智博氏「近世柏原宿における橋梁維持管理体制」

酒嶋恭平氏「ヘレニズム時代における「ペルシア戦争」表象一ディ

オドロス・シクロス『歴史叢書』に焦点をあてて」

佐藤弘隆氏「山・鉾・屋台行事の存立基盤に関する研究―近現代京

都における祇園祭山鉾行事を事例に」

大 阪 府

◆池田郷土研究 池田郷土史学会

〒563-0058池田市栄本町9-1 池田市コミュニティセンター 公益活動促進センター内 年3000円 1956年創刊

◇22 2020.5 B5 106p

巻頭写真 明治6年渋谷村地引絵図 119×92cm(吉田元壽所蔵)

北摂郷土史学運動と粟野頼之祐一池田郷土史学会の「生みの親」 藪田 貫

江戸時代の淀川・池田と物流

近世在郷町池田―池田炭をめぐる動向 川合 賢二

北摂の古代一豊島郡を中心に

西本 昌弘

田中喜佐雄

池田・豊中の社寺建築

永井 規男 勝部 明生

北摂の石灯籠と狛犬

会員ページ

近々完成の『続・能勢物語』より「近江局」を紹介

平尾 悦子

めんも楼のはなさんの歌「風恋桜」

篠原 利香

探訪 旧丹州街道・小部峠越え 内馬場(猪名川町)から民田へ オーロラを見た

瀧 健三 長谷川信夫

富田好久先生 日本考古学協会から永年在籍会員として表彰 書籍紹介

大下 明

秋吉好著『田中桐江一ある隠儒の生涯』秋吉好著

藤井 知敏

丹松美代志・丹松美恵子著『教えるから学ぶへ一協同的学びとの出

会い』

松本 腎治

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円 http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

♦390 2020.6 B5 12p

縄張り分析からみた蛇谷城

白石 博則

室町幕府中枢の動きと和泉(20) 九 信長・秀吉の登場

井田 寿邦

史料 佐野村の寺社(3) 藤田家文書「佐野村寺社帳」(3)

新刊 史料集5『和泉の中世城郭―近世以降の地誌類等にみる』井田

寿邦・編/地域の事典16『都々逸でつづる コロナ日誌』館伝人

♦391 2020.7 B5 16p

松浦孫五郎の花押

嶋中 佳輝

土地台帳にみる土地利用(8) 安松/岡本

井田 寿邦

能野古道の旅(26) 大辺路 紀伊姫駅~重畳山~虫食岩/中辺路 清

姫の墓から滝宮王子宮

北山 理

史料 佐野村の寺社(4) 藤田家文書「佐野村寺社帳」(4)

一年間を振り返る

事務局

19年度(19年7月~20年6月)の歩み

紹介 木下聡著『斉藤氏四代』/新刊 地域の時点17『都々逸で綴る 続コロナ日誌』館伝人

◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会

〒599-0223阪南市光陽台4-5-25 林耕二気付 TeL072-471-8601 1993年創刊 www.eonet.ne.jp/~minshusi/

◇71 2018.7 A5 136p 1000円

表紙きりえ 橘寺 田宮 勝美

神戸における大逆事件関係者について 上山 慧

人間魚雷「回天」製造の現場から 二宮 一郎

高鍋藩に現れた神仏判然法の様相―朝藩期の「藩尾録」を中心に 後藤 正人

中世の物語と陰陽師 細田 慈人 眞田山陸軍墓地に見る日清戦争下の留守家族扶助 中下 秀夫

石川合戦異聞一紀州雑賀衆の戦いと古座にいた雑賀衆末裔 林 耕二

3.15事件治安維持法犠牲者・久木興治郎―大阪における足跡を追う 松浦由美子

グラビア 飛鳥フィールドワーク ^70 201011 A 5 120 1000円 写真と文・林耕二

◇**72** 2019.11 A5 138p 1000円

表紙絵 のしてんてん「蓮の花」

鉛筆による現代美術作家 北籔和(Waa)

永井孝弘氏 特別幹部候補生の修養録(上)

ーアジア太平洋戦争末期の下士官候補生の訓練日誌より 高谷 均

濱口梧陵生誕二〇〇年記念寄稿

米国に残された濱口梧陵の足跡を探して 白岩 昌和

高鍋藩の廃藩にいたる部落史

一秋月氏「藩尾録四」までの藩日記を中心に 後藤 正人

算田山旧陸軍墓地が語る「プロパガンダ」 中下 秀夫

『五日市憲法』の先駆性―発見から50年、今学ぶこと

新井勝紘さん講演要旨

3.15事件治安維持法犠牲者・久木興治郎(後編)―大阪のカルチェラタン

上野台地を駆け抜けた「外語社研」の群像 松浦由美子

グラビア 堺まち歩きフィールドワーク(北庄を中心に) 案内と文・竹田芳則

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 1506-6931-1081 年5000円 1984年創刊 http://osakarekikon.cocolog-niftv.com

♦428 (37-6) 2020.6 B5 4p

神のおやしろのこと(50) 難波八坂神社(2)

和久 敦也

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階 Tel06-6775-3686 年2200円

◇848 2020.7 A4 8p 300円

京の観世座一芸能市場の確保と作品

南都戒律復興の道をゆく

池田 淳 佐藤 亜聖

◆除痘館記念資料室だより 洪庵記念会除痘館記念資料室

〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17 緒方ビル 15L06-6231-3257 2010年創刊 **♦13** 2020.6 A4 6p

種痘―ジェンナー博物館と除痘館記念資料室

渡部 幹夫

中川哲次(適塾門人)著「精得舘病室方叢」と中川家 古西義麿/津山邦寧 緒方洪庵の家系について

緒方 高志

緒方拙斎についての調査報告―近年の動向をめぐって

川上 潤

大坂除痘館分苗所、大和の村井宗建とその輪郭

淺井 允品

坂本 昇

新刊紹介 『緒方洪庵記念財団所蔵 緒方文庫目録』古西義麿・小澤

健志共編 (K)

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 1至06-6652-4511 http://www.kojvo-tomonokai.com

♦618 2020.6 B5 32p

和泉 岸和田城を訪ねて(7月・第681回例会)

讃岐の山城を訪ねて~西長尾城・天霧城・虎丸城

豊後臼杵城を訪ねて 川端 義憲 平川 大輔 大坂城の謎の穴 高天神城 城を巡る三つの戦い大坂城の謎の穴 二瓶 久美

♦619 2020.7 B5 24p

阿波海部城を訪ねて 坂本 昇 芥川山城(第676回報告)について 石田 泰信

遥か蝦夷地より肥前名護屋城の秀吉・家康に伺候した大名 石田 泰信

城に行けなくなった!

川端 義憲

別冊 第681回例会 令和2年(2020)7月5日 和泉 岸和田城を訪ねて

案内講師: 栢木隆 担当幹事: 中西徹・平川大輔

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 http://homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/

♦389 2020.6 B5 16p

畿内政権の勢力伸長と地域間関係

田中 晋作

♦390 2020.7 B5 8p

市民講演会 摂津の古代寺院をめぐって

- 猪名川流域の寺院造営氏族

高橋 照彦

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学文学部 井上研究室気付 1951年創刊 http://www.historia-osaka.on.arena.ne.ip

◇280 2020.6 A5 107p 900円

幕末期における幕府の大坂湾防備政策と堺台場

―川村修就と勝海舟に着目して

後藤 敦史

「勝尾寺文書」所収寺領目録の基礎的研究

小野塚航一

わたしたちの文化財 薩摩遺跡の古代溜池

北山 峰生

書 評

鈴木琢郎著『日本古代の大臣制』

鷺森 浩幸

馬部隆弘著『由緒・偽文書と地域社会―北河内を中心に』

片山 正彦

齊藤紘子著『畿内譜代藩の陣屋と藩領社会』

角和 裕子

渡邉公太著『第一次世界大戦期日本の戦時外交 石井菊次郎とその

周辺

塚本 英樹

沢井実著『海軍技術者の戦後史―復興・高度成長・防衛』

村上 友章

報告

二・一一集会の記録

藤田 裕介

旧真田山陸軍墓地の保存にむけて

一二〇年の活動を振り返って考える

小田 康徳

兵 庫 県

◆源右衛門蔵 宝塚の古文書を読む会

〒665-0836宝塚市清荒神1-2-18 宝塚市立中央図書館市史資料室気付 TEL0797-85-0648 1999年創刊

◇22 2020.7 A5 106p

解読文(令和元年6月~令和2年5月学習)

御触書并訴状控(享和四年)(前号から続き)(11項目)[資料番号B06]

売布社石碑之覚(元文元年) [目録集26-09]

『源右衛門藏』の編集構成に注力した杉本大兄!

宝塚の古文書を読む会によせて 杉本 和子

和田 正宣

生人(生相)の等味を辿って一細色字符の外等デッサンで用ること

会誌『源右衛門藏』創刊号を読む~故きを温ねて新しきを知る はらだおさむ

「エフエム宝塚」と「宝塚の古文書を読む会」 藤本 清志 戦災記(阪神尼崎駅前・一九四五・B二九) 増田 勝彦

戦災記(阪神ル崎駅前・一九四五・B 二九) 増田 勝彦 元旦能 一度、行きませんか。観ませんか。 中安 章夫

江戸時代の山口地域の貢租 その特徴と種類

一山口各村に残る古文書を中心に 瀬 將英騏

三分の一をすごして 楊井ツヤ子

新入会のご挨拶 上川 弘明 「古文書徒然」を読んで 住野八壽子 歴史に触れるおもしろさ 北田 彩加

小著『古文書徒然』の発行 原田 修

◆生活文化史 史料館だより 神戸深江生活文化史料館

〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7 TEL078-453-4980

1981年創刊 http://fukae-museum.la.coocan.jp

♦48 2020.3 B5 24p

古地図に見る有馬への魚屋道 大国 正美

深江物語(10) 深江の旧国道(新道)の家並みや店舗 森口 健一 深江にあった戦争(3) 深 江 塾

阪神電車の高架事業で変わる深江の風景 藤川 祐作

史料館この一年を振り返って 史料館

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 151.079-442-0658 1986年創刊

♦82 2020.7 B5 4p

聖徳太子信仰について

長谷川靖高

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 1510798-33-0321

http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/

♦627 2020.6 B5 8p

西宮宿あれこれ(1) 日本地図が出来るまで一伊能忠敬

山下 忠男

西宮市の海外姉妹・友好都市(1)

森田 正樹

会員活動報告 故織本順吉翁(国内最年長映画俳優)追想 中村宏/山本純子

♦628 2020.7 B5 8p

西宮市の海外姉妹・方好都市(1)

森田 正樹

ステイホーム雑感

二宮 健

油断ならない新型コロナウイルス

江嵜健一郎

会員活動報告 国連難民高等弁務官日本協会に支援&提言 中村宏/山本純子

◆年報 香寺町の歴史 香寺町史研究室 (発行:香寺歴史研究会)

〒679-2131姫路市香寺町犬飼464-1 犬飼公民館別館 TEL079-280-6665

♦ 14 2020.3 B5 79p

《特集 地域の歴史を伝える―中学校と連携して》

基調講演 現代の出来事を未来へつなぐ

―阪神・淡路大震災の経験から

佐々木和子

提案型協働事業報告会

令和二年度協働事業全体報告

中学校との連携―地域の歴史を伝える

大槻 守

会員からの報告 その一 出前授業 パートⅡ

牛尾 降彦

会員からの報告 その二 中学一年生の地域調べ学習を手伝う 駒田 新安

中学校からの報告 「もっと知りたい、香寺! |一地域の人に学ぶ(2)

姫路市立香寺中学校長 堀 晶子

地域を調べる―生徒の発表

香寺町の史跡・資料館を巡って

一年一組 西 希望

広田神社ニュース

一年二組 小野ほのか

幻の中村温泉

一年三組 清水悠翔

恒屋城跡

一年四組 坂口裕香

地域を伝えるために―報告会に参加して

井上 舞 堀 晶子

令和元年度 提案型協働事業報告会に参加して

歷史研究会活動報告

令和元年度 歷史研究会事業報告

令和元年度定期総会の開催

記念講演 ひょうごと秀吉-新発見の検地帳から

前田 徹

出前授業と地域調べ学習

香寺中学校「トライやる・ウィーク」での授業

高田 雅勝

地域調べを手伝って

小原 康彦

「地域調べ学習」に協力して

大槻 守

レポート

犬飼村民の暮らしと川

犬飼研究同人

大井用水・大妻用水・中川

中安清夫/鎌谷博善

村の水車―「川と暮らし」の調査から見えること

大槻 守

秋のハイキングに参加して

福永 道子

相坂トンネル―地域の生活を支え100年(神戸新聞 2019年11月28日)

町史研究室通信

一四年を振り返って/中学校との連携/暮らしを伝える

『新・ムラの生活史 Ⅲ』発行

年表・香寺歴史研究会の活動―『村の記憶』を書き継ぐ

香寺町史編さん関係文献目録(その1~その3)

奈 良 県

◆大美和 大神神社

〒633-8538桜井市三輪 TEL0744-42-6633 http://www.oomiwa.or.jp

♦139 2020.7 B5 76p

拝察される神―神宮と大神神社

白江 恒夫

日本書紀研究の視点

早川 万年

第16回三輪山セミナーイン東京講演録 三輪山・ヤマト王権と東国 吉村 武彦

大和と能

鎌田 東二

和歌山県

◆熊 野 紀南文化財研究会

〒646-0051田辺市稲成町392 高山寺 曽我部大剛方 1510739-22-0274

年3000円 1969年創刊

♦158 2050.5 A5 70p

熊楠伝説と知的生産との関係一各種評伝の分析を通して

雲藤 等

楊貴妃と狐と熊野参詣ブームの始まり

一中世の熊野信仰の正体に関する仮説(2)

蓑 虫

部落史素描(8) 紀勢西線礫山トンネル工事の事故とその周辺

藤井 寿一

郷土関係新刊紹介 南方熊楠と宮沢賢治 日本的スピリチュアルの系 譜/南方熊楠のロンドン/南方熊楠と日本文学/田辺市文化賞五十 年/熊楠研究第一四号

文化財ニュース 「開かれた棺―紀伊の横穴式石室と黄泉の世界―」展/滝の川集落の発掘調査/「安藤直次入城四百年記念 安藤帯刀家と安藤小兵衛家」展/安宅氏館跡が国史跡になる/「佐藤春夫と谷崎潤―郎―離れえぬ縁―」展/世界遺産登録―五周年記念シンポジウム/里野中山城跡の発掘調査/近世後期の海外見聞記が見つかる/阿須賀神社境内(蓬莱山)出土品 重要文化財指定記念シンポジウム/第三○回南方熊楠賞は北原糸子氏/旧チャップマン邸が国登録文化財になる

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生 TEL0735-23-3333 年3000円

♦218 2020.7 B5 2p

本年度の行事は中止/『熊野歴史研究』23号/『近世の巡礼と大坂の庶民信仰』大阪城天守閣館長 北川央先生/『木地屋幻想』―紀伊の森の漂白民 元朝日新聞社論説副主幹 桐村英一郎先生/旧西村家住宅の修復再開/事務局より

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

♦ 79 2020.7 A5 90p

小特集 成立期和歌山城とその周辺

和歌山城築城以前の岡山(虎伏山)一「土橋平丞城」と「広福禅寺」 武内 善信 徳川頼宣・光貞期における和歌山城本丸御殿の利用実態について 伊津見孝明 大村由己のみた紀州攻め 寺西 貞弘

紀州における別峯大殊の足跡

島根県

◆郷土石見

〒697-0017浜田市原井町1023-9 森脇晋平方 1976年創刊

◇114 2020.8 A5 134p 1200円

表紙写真 ハッチョウトンボを通した人づくり・まちづくり(浜田市

金城町下来原 写真:杉田雅弘/文:岡本修治

野峠の堤を作った人 内谷 知

石見銀山付御料東部地域の漁業について一波根東浦を中心に 池田 誠一

浜田、松江招魂社・護国神社の創建 浜田藤の茶人「妙関公」について 三浦 和成

海洋学者・丸川久俊の研究を読む(7) 続・北洋の漁業調査 森脇 晋平

民俗 石見地方東部農村における戦後の民俗(6) 長尾 英明

町から村から

満鉄病院は今平賀英一郎

日貫の記録(2)一日貫郷原家について 山田 明子

書評 『石見銀山領三十三ヵ所巡り』冊子のこと 酒井 董美

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 1610853-53-4966

年2500円 1974年創刊 http://www.taisha-shiwa-kai.jp

♦203 2020.6 B5 46p

《特集 荒木浜の開拓と大梶七兵衛》

荒木浜の開拓と大梶七兵衛 多久田友秀

コラム 中世の「荒木浜」は湿地帯だった! 山﨑 裕二

小説 或る日の大梶七兵衛(再掲・遺稿) 村上 捷応

湿原開拓の同志たち(再掲・遺稿) 斎藤 至

「大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・創る」シリーズ(15)

人の輪を繋ぐ踊りとして
大梶踊り保存会

大社町の町内巡り(4)

本郷 修理免の名称の由来と本郷荒神社の由緒 廣澤 將城

「出雲地域の歴史と文化」シリーズ(17の2) 出雲そば好き人物伝 川上 正夫

令和2年(2020)1月~3月 出雲市大社町年表 企画展「大地に生きる―しまねの災と幸」 編集部

島根県立古代出雲歴史博物館(文責·倉恒康一)

手錢記念館の四季 企画展「陶磁器展」 手錢記念館学芸員 佐々木杏里 会館10周年記念 常設展リニューアルオープン!

出雲弥生の森博物館(文責・三原一将)

表紙写真 大梶七兵衛像(写真提供: 荒木コミュニティセンター)

岡山県

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 1至086-233-2505

http://www.o-bunka.or.jp

♦158 2020.6 A5 14p

随想二題

坂田一男生誕地記念碑に思う

妹尾 克己

ちょっとした安心感で救われる

草苅 祐子

岡山の人物(97) 難波経直

木下 浩

岡山の自然(153) コヤスノキ 岡山の文化財(153) 和氣神社 江口 直輝 森元 純一

わが町・わが村の自慢 鏡野郷土博物館(岡山県苫田郡鏡野町)

ふるさとの想い出 井原市与一記念弓道場(井原市)

文化財団ニュース/催しのご案内

会員だより 人との大切な出会い

住山 洋二

広島県

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TELO84-953-6157 http://bingo-history.net

♦ 214 2020.7 A4 18p

備後国衆列伝(2) 甲奴郡の新見氏

田口 義之

水野勝成城下ゆかりの地散策マップ 会員限定コンテスト!

備後史談 ゆやの坊という山伏

桑田 幹夫

研究レポート 草戸千軒と水路(7) 一水路の水の供給源

瀬良 泰三

近世福山の歴史講座 福山藩水野家の出兵 第一章 熊本城請取一水

野勝成・勝重/第二章 島原の乱に出陣-水野勝成・勝重・勝貞/

第三章 備中松山城下在番一水野勝重/第四章 作州津山城請取の

等一水野勝種 高木 康彦

福・山珍道中

田口義之の備後山城50選(39) 田総長井氏の拠点 川平

辻堂百景(23) 福山市神辺町湯野市「豊久保地蔵堂」 秋山 由実

 山城探訪
 石寺城跡
 近江一向衆の砦
 末森
 清司

 投稿俳句
 住田
 保夫

後藤 匡中

祝 住田保夫さん 「諾ひし特攻老いや春田打つ」

読者語り ナレーション(語り)

備陽史探訪の会NEWS 備陽史研究3年ぶり発刊 探訪の会 干拓や

城跡の論文集 「中国新聞」福山・尾三版 2020年6月13日(土)/

YAHOO!のトップページに掲載されました! 「毎日新聞」広島・

備後版 2020年6月22日(月)/福山城 築城時の城下町知って 郷

土史研究会 400年記念地図作製 「中国新聞」2020年5月10日(日)

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 140848-63-9932

♦352 2020.7 B5 12p

今月の各地 「籠如神社」の名付け親は? 鈴木 健次

令和2年度総会(書面決議方式)報告 鈴木 健次

日本の牛と馬、交通の歴史(2) 三好 邦範

神明当屋帖 その一 より(1) 定森 總治

山口県

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会

〒753-0083山口市後河原150-1 山口県文書館内 1xt083-924-2116 1954年創刊 http://www.ysflh.jp

♦123 2020.6 A5 144p

仁壁神社の現祭神について

一古代における山口盆地の実態解明を目的として 渡辺 滋

大内義隆の遷都計画 トーマス・コンラン

江戸時代の岩国における学事施設の展開―岩国徴古館史料から 枝元 咲 茶葉宮判別種痘医及び他薬伝授について 石川 英彦

萩藩宰判別種痘医及び他藩伝授について 石川 敦彦 蓋井島賢女鼻に残る海軍防備衛所の遺構 工藤 洋三

まちから「病院」が消えた日一戦後徳山市における地域医療再建の歴

 史 一九四五~一九六六
 山田 友紀

 南蛮菓子と南蛮料理
 石永 雅子

 調査と探求 長州藩と会津藩
 小山 良昌

 歴史散歩
 本田本本「『牡川エウコート・ストンスートロエ 間 係引車

吉田兼右「防州下向記」にみえる大内氏関係記事 和田 秀作 粥占い神事―おいずみ祭と小祭り 日高 千晶 新刊紹介 岡田勝栄「『拾塵和歌集』事始」 田村沓士郎

地方だより 大島地区(中野行真)/岩国・玖珂地区(松岡智訓・藤重豊)/細井地区(松島幸夫)/熊毛地区(林芙美夫)/光地区(国広哲也)/周南地区(川上浩史)/防府地区(吉瀬勝康)/山口地区(古賀信幸)/宇部地区(内田鉄平・小野田智文)/美祢地区(池田善文・藏本隆博)/下関地区(畠中茂朗)/長門地区(藤井文則)/萩地区(相島宏美・道迫真吾)/下松地区(田村梯夫)

発表要旨 第131回研究大会

大内寺の朝鮮沸騰と新旧伝説の展開相

一論界で度外視されてきている義弘伝説の具体とは	北川	健
萩藩毛利家の「裏」とその構造	石田	俊
萩藩の解剖について	石川	敦彦
小畑焼の生産について	柿添	康平
長州毛利家の上層部と浪士たち―文久・元治期を中心に	熊野	一就
幕末・明治期の萩藩儒学者 繁沢光太郎の履歴		
一萩博物館所蔵田中助一収集資料中の繁沢家文書を素材に	平岡	崇
『関門日日新聞』に見る戦時期日本へのユダヤ難民到来		
−1938年11月~1940年8月	菅野	賢治



*山口と会津に地縁のない者でも、「会津の長州に対する遺恨」のイメージは持

っている。小山良昌「長州藩と会津藩」は、資料調査によってその実態を検証したもので、大変に興味深い。会津藩が長州藩に大敗北したことは紛れもない事実である。しかし、長州軍に従軍した英国公使館付外科医ウィリアムの見聞記によれば、長州軍は会津藩内で狼藉を働いた隊員を斬首するなど規律は極めて正しく、地元農民などの評判は金品を奪うなどした会津軍の方が悪かった。戦いの後、長州藩は困窮する会津藩に金千両を送り、藩主家同士の婚姻関係も結んでおり、少なくとも戦前には旧両藩間の確執は存在しないように見えるという。会津の長州への恨みが語られるようになるのは、戦後のことで、決定的にしたのは、直木賞作家早乙女貢の小説『会津魂』『続会津魂』によるとする。一方会津でも、2017年に大川原志郎氏が「今に残る『長州への怨念』を検証する」(会津史学会編『歴史春秋』第85号)で関係の見直しを主張しているとのことである。こうした論考を読めば、第三者には謂れなき確執であったように思えるのだが、両地域の人たちはどうだろうか。

徳島県

◆徳島県立博物館研究報告

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 Tell 088-668-3636 1991年創刊 https://museum.tokushima-ec.ed.jp

♦30 2020.3 A4 111p

金属製考古資料の発錆に関する基礎調査

植地 岳彦

恵解山8号墳出土遺物の再検討 附恵解山古墳群出土資料一覧表

岩井顕彦/岡本治代

四国の鴟尾―伊予・阿波・土佐を中心に

岡本 治代

山田 量崇

長谷川賢二

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 Tel 088-668-3636 1990年創刊 https://www.museum.tokushima-ec.ed.jp

♦ 119 2020.6 A4 8p

まばゆい甲虫 Culture Club 山伏の中世と近世―仙光寺文書は語る

2020年度 徳島県立博物館企画展「甲虫すごいぜ! |

歴史散歩 香川県高松市 屋嶋城跡 岡本 治代

情報BOX 石灰岩植物~過酷な環境に生える植物たち 茨木 靖

レファレンスQ&A 画家の藤重春山についておしえてください 大橋 俊雄

福岡県

◆季刊邪馬台国 梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 15:092-643-7075 年5400円 1979年創刊 **◇138** 2020.7 A5 220p 1350円

巻頭言 記紀の行間を読む

編集部

時事古論(11) 謎の鏡・「金銀錯嵌珠竜文鉄鏡」の徹底的探究 これ はあるいは「卑弥呼の鏡か」? 探究連載(1) 問題を解く鍵は、

「西晋鏡」の動向にある

安本 美典

〈総力特集 日本書紀大解剖〉

『日本書紀』区分論と記事の虚実

森 博達

日本書紀と「歌| 『日本書紀』とはなにか 犬飼 隆 荊木 美行

「記紀編さん1300年記念事業 |~宮崎県の取組

瀬尾 降太

神社仏閣、縁起めぐり(5) 都萬神社と石貫神社

編集部

報告 吉野ヶ里遺跡史跡指定30周年記念シンポジウム

唐古・鍵遺跡から見た邪馬台国

藤田 三郎

吉野ヶ里遺跡と邪馬台国

七田 忠昭

邪馬台国の今~弥生時代の研究の Frontline

新連載 私の町の博物館 第1回

卑弥呼と出会う博物館 大阪府立弥生文化博物館

塚本 浩司

宮崎県西都原考古博物館について

松林 豊樹

世界遺跡巡り(16)

カルカソンヌ城~フランス南西部のヨーロッパ最大の城塞都市 井上 修一 オトナ女子のコラム 晴れ、ときどき、古代史

藤江かおり

『先代旧事本紀』が明かす戸隠神社の神々~高天の原随一の知恵の神

思兼命岩戸開きの神々 戸隠神社の物語

志村 裕子

自著を語る

『偽書が揺るがせた日本史』

原田 実

『卑弥呼と女性首長』新装版

清家 章

◆太室府市公文書館報

〒818-0110太宰府市御笠5-3-1 1至092-921-2322 2015年創刊 http://dasaifu.mma.co.ip

◇令和元年度 2020.5 A4 59p *事業報告のみ

◆太宰府市公文書館紀要 年報太宰府学

〒818-0110太宰府市御笠5-3-1 1年1092-921-2322 2007年創刊

http://dasaifu.mma.co.jp

♦14 2020.3 A4 72p

《齋藤秋圃特集号》

特集にあたって

朱雀 信城

資料目録 太宰府絵師調査資料目録【齋藤秋圃1】

資料紹介

西尾市岩瀬文庫蔵『江海風帆録』について

朱雀 信城

太宰府天満宮蔵 齋藤秋圃《町並図絵馬》 秋圃の受容環境一秋月藩周辺の社寺所蔵作品から 井形栄子/宮崎亮一 小林 知美

福岡市博物館蔵『筑前名所図会』の挿絵の筆者

井形 栄子

佐 賀 県

◆末鷹国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 Tel0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

♦222 2020.6 B5 20p

唐津市重要文化財 常安寺の銅造誕生釈迦仏立像 唐津市北波多徳須恵365-1 曹洞宗円通山常安寺

志佐 惲彦

寺沢時代の野母・高浜・川原(下)

寺沢 光世

唐津城跡出土慶長丁銀について

美浦 雄二

唐津・発掘・発見の話(10) 増田一行、和多田権現山古墳等を視察す

徳富 則久

弥生系鉄器の終焉にかんする試論~鉇と素環頭刀子を中心に

立谷 聡明

長州戦争と唐津藩

山田 洋

古文書発掘 『明和五年子三月薭田村御用留メ写帳』

山田 洋

歴史に忘れられた人一友常典膳覚書(8)

田島 龍太

宮崎県

◆石の証言 「八紘一宇」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

https://hakkouitiunotou.jimdo.com

♦97 2020.7 A4 8p

石の証言 香港日本人会

2020年度の総会報告

記念講演 南邦和「"魂の詩人" 尹東柱(ユン・ドンジュ) |

南邦和氏の講演、「"魂の詩人" 尹東柱(ユン・ドンジュ)」から思った

杉屋 宏

古関裕而と「軍歌 | 一時代が育てた作曲家

南 邦和

「八紘基柱」の思い出

- 7

本田 宏

トピックス 河野富士夫『宮崎の戦争と若者たち~太平洋戦争を語り 継ぐ4つの物語~

ベルリンの壁崩壊から30年(4) / 「「ベルリンの壁」崩壊30年 | (伊藤寿 庸 「赤旗 | 2019.9.5、16.17付け)、「旧東ドイツ 発展と失望 | (野 島淳 「朝日 | 2019.11.9)

追立 敏弘

遺稿 「八紘一字」の塔を考える会 「石の証言」第55号 2013/5/15 大邱の小学校で植民地時代の石碑発見

河野富士夫

戦後文化史「宮崎映画サークル」の全貌 一九五〇年代のドキュメン 卜発刊 矢野勝敏編著 本体価格2000円

もう一つの「命のビザ」米で発見 ユダヤ人救済率先 根井三郎氏が 発給

鹿児島県

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会

〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18 阿多利昭方 151099-253-1775 年4000円 1950年創刊

♦157 2020.6 B5 98p.

表紙写真解説 種子島の系図祝い

松原 武実

蟲の民俗語彙 西之表市と南種子島町の盆行事 橋口 滿 牧島 知子

古代漁法―しらつな(白綱)

渡山 恵子

南島雑話の不思議な世界 (1) 血の流れる川、(2) ナマトンカナシー

八角八足の怪牛の精霊、(3) ハレウシー火災除け・牛引き回す、(4)

歌垣―男女が歌掛け合う

名越 護

シマウタ「嘉徳なべ加那節」を考える

名越 護

海垣跡一小魚掬い捕る海垣漁

名越 護

漂着したヤンチュ

名越 護

与論方言シニュグ(Siniugu)の語源について

一民俗行事「シュニグ〈稲穀〉祭り」に見る太陽信仰の名残 橋口

潚

鎌倉めぐり一大仏・忠久の墓 所崎 平 早馬と古代官道 石野 官昭 加世田再撰帳にみる衆中踊(郷土踊)など 松原 武実 筑後地方のカメカレという稚児神 松原 武実 わたしの昭和(4) 観音相撲―民俗文化が消える(昭和20年代以降) 石野 宣昭 わたしの昭和(5) 戦後からの文明大激動 所崎 平 霧島修験愛甲家資料『霧島山中央権現調堂』 森田 清美 資料 安永二年 次渡日帳 川邊 前床重治・編 みんぞく・かわらばん 怖かったトゥール墓(1)(2)(3) 名越 護

寄贈図書紹介

◆清瀬市史3 資料編 古代·中世

清瀬市編・刊(〒204-8500 東京都清瀬市中里5-842 清瀬市企画部市史編さん室 Tm.042-492-5111)2020年3月 B5 742頁

市制施行50周年を記念し、昭和48年刊『清瀬市史』の成果を継承しつつ新たに資 料編を加えた新『清瀬市史』の第1冊。清瀬市域を中心とした地域に残された5 世紀中葉から16世紀までの古文書・古記録・系図や石造物987点を収録する。刊 行によせて(渋谷金太郎)/発刊にあたって(根岸茂夫)/編集にあたって(浅倉直 美)/第一部 古代 第一章 悲田処をめぐって(武蔵国の悲田処、九世紀の地 方の救済・医療施設、悲田・敬田と唐の悲田養病坊、奈良時代の悲田院・施薬 院・布施屋、平安京の悲田院)、第二章 古代の武蔵国(多摩郡、入間郡、武蔵 国)/第二部 中世 第一章 中世前期の清瀬周辺(多東郡・入東郡の村山党、 新座郡の片山氏、鎌倉街道久米川宿の周辺)、第二章 中世後期の清瀬(清戸と 芝山十玉坊 (清戸をめぐって、十玉坊)、大石氏、三田氏、山内上杉氏の文書と 花押(上杉憲顕、上杉能憲、上杉憲春、上杉憲方、上杉憲定、上杉憲基、上杉憲 実、上杉清方、上杉憲忠、上杉房顕、上杉憲定、上杉憲房、上杉憲寛、上杉憲 政)、北条氏照の文書と花押、北条氏照家臣の文書と花押(横地吉信・与三郎、 狩野宗円・照宗、布施景尊、間宮綱信・照信、近藤綱秀・照秀、大石高仲・佐馬 助,照基,秀信))/第三部 清瀬市中世石浩物(中世石浩物解説)/協力者一覧/ 清瀬市史編さん関係者一覧/あとがき(清瀬市史編さん室)

◆新府中市史 民俗分野報告書(二) 書きとめられた日常

府中市編・刊(〒183-0023 東京都府中市宮町3-1 ふるさと府中歴史館 1€1.042-335-4376)2020年3月 A4 217頁

市制60周年を機に平成26年から開始された新市史編さん事業による民俗分野報告書の2冊目。二軒のお宅で書き留められた日々の生活の記録、そのときどきに必

要となった買い物の内容が記されたメモや、支出を書き留めた帳面を基礎資料として紹介する。はじめに(高野律雄)/編集にあたって(八木橋伸浩)/口絵 家庭経済の一端を垣間見られる資料(昔の新聞折込チラシ)/河内家の「家庭経済帳」にみる人見の暮らし(土居浩)/コラム 自給自足のくらしを支えた肥料づくり(関口宣明)/コラム 記録から読み取る蚕の記憶(佐藤智敬)/石川家の「買い物メモ」にみる府中の暮らし(及川祥平)/コラム 忠実屋と府中(中里亮平)/コラム 郷愁のコロッケ(竹内由紀子)/あとがき(倉石あつ子)

◆せたがや文化マップ vol.4

世田谷区生活文化部文化·芸術振興課(〒154-8504 東京都世田谷区世田谷4-21-27 Tm:03-5432-2124)/世田谷区教育委員会生涯学習·地域学校連携課(Tm:03-5432-2726) 2019年11月

伝統的・現代的双方の文化的環境に恵まれた世田谷区の魅力を、14のおすすめコースに分けて紹介する文化・芸術マップ。

◆せたがや風景MAP

世田谷区都市整備政策部都市デザイン課(〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4-21-27 Tm:03-5432-2039) 2020年4月

「地域風景遺産」や「せたがや百景」など、世田谷区内の身近な魅力ある自然や 街並みを紹介する風景マップ。

◆町田の近代と青年 民権ブックス33

町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会 (〒195-0063 東京都町田市野津 田町897 ™ (1811-042-734-4508) 2020年3月 A5 103頁

2019年度特別展《町田の近代と青年》の記録(開催にあたって、I 社会に浮上する若者、II 自由民権期の青年、II 町田の青年と壮士、IV 日清・日露戦争と青年、V 日露戦後から大正期の青年、VI 青年会から青年団へ、VI 第二次世界大戦と青年団)/記念講演 I 自由民権運動と〈青年〉(和崎光太郎)/記念講演 II 大衆消費社会の到来に対峙する農村青年――九二〇~三〇年代の鶴川小学校『同窓会雑誌』を手がかりとして(上田誠二)/記念講演 II 鶴川における青年の活動と意識(中溝正治)

◆民俗建築70年 1950年-2020年

日本民俗建築学会編・刊(〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-33 法政大学デザイン工学部建築学科内)2020年3月 A4 68頁

第1章 歴代会長の言葉 初代会長石原憲治のもとめた民俗建築(津山正幹編)、第二代会長竹内芳太郎の語る民家(津山正幹編)、第三代会長佐藤重夫が説く「民俗建築に内在する自然と精神の世界」(古川修文編著)、第四代会長・杉本尚次先生の民家研究史を訪ねる(河原典史・堤涼子・佐藤弘隆)/第2章 学会の歩み(学会の歩み・事業・出版、学会賞授与者一覧、大会開催一覧、大会研究発表一

覧、シンポジウム開催一覧、見学会開催一覧、研究会開催一覧、民家展開催一覧、 歴代役員一覧、歴代会務担当委員一覧、学会誌『民俗建築』総目次)

◆無形文化遺産の新たな活用を求めて 第14回無形民俗文化財研究協議会報告書東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊 (〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43 無形民俗文化財研究室 1203-3823-4925) 2020年3月 A4 111頁 2018年12月20日に開催された第14回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。はじめに(齊藤孝正)/趣旨説明 活用という名の希望、もしくは(久保田裕道)/第1部 報告 地域における無形の文化財活用の取り組み(角美弥子)、南信州地域における民俗芸能継承の取り組み(村松弘崇)、地域文化財総合活用推進事業と伝統文化親子教室事業を活用した取り組み(福持昌之)、無形文化遺産の魅力ある見せ方(山田雅也)、問題提起(今石みぎわ)/第2部 総合討議 コメンテータ(矢島友幸・村上忠喜)、パネリスト(角美弥子・村松弘崇・福持昌之・山田雅也)、コーディネイター(久保田裕道・今石みぎわ)、ディスカッション/参考資料 アンケート集計結果、参加者一覧(50音順・敬称略)

◆相模国鎌倉郡片瀬村「御用留」(4) 藤沢市史料集43

藤沢市文書館編・刊(〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 ™10466-24-0171) 2020年3月 A5 101頁

東京大学法学部法制史資料室所蔵の旧相模国鎌倉郡片瀬村の嘉永5年(1852)から明治3年(1870)の11冊の御用留のうち、文化13年(1816)から天保13年(1842)までの7冊を収録する。『藤沢市史料集』3・4・5(1977年3月、1979年8月、1980年10月)につづく4冊目である。口絵(片瀬川流路変更締切地点絵図)/御用浦御触書并諸廻状控帳(文化13年4月)1~35/御用御触書諸用留(文化14年正月)36~73/御触書諸廻状写(文化14年9月)74~105/御用御触書并諸廻状留(文化元年6月)106~136/御用浦御触書諸廻状留(文政5年4月)137~156/御用浦御触書諸廻状留(文政5年9月)157~182/浦御用御触書諸廻状留(天保12年正月)183~221

◆幕末・明治、外国人の見た藤沢 藤沢市史ブックレット11

小風秀雅著 藤沢市文書館(同上)2020年3月 A5 111頁

(続)藤沢市史編纂にあたって市史の内容をわかりやすく紹介するブックレットの第11冊。ペリー来航以来、日本と世界との繋がりが深まっていくなかで、日本がどのように世界に伝えられていったのかを、開国、横浜開港、交通革命、ジャポニズムの順で、時代を追いながら見ていく。はじめに一グローバル世界の成立と日本への関心/I ペリーとハリス 二つの条約(太平洋横断航路とペリー、通商条約とハリス)/II 横浜開港と遊歩区域(開港初期の横浜、十里以内遊歩区域)/II 80日間世界一周の時代(交通革命の到来、グローブ・トロッターの時代)/IV 江の島の魅力(江の島への道のり、江の島の魅力)/近代化のなかの江の島(ジャポニズムとラフカディオ・ハーン、近代化と変容)/終わりに/引

用・参考文献/写真・図一覧/あとがき

◆歴史をひもとく藤沢の資料 5 善行地区・湘南大庭地区

藤沢市文書館編·刊(同上)2020年3月 A4 94頁

1967年から始まった藤沢市史編さん事業の成果として刊行された『藤沢市史資料 所在目録稿』1~25(1969年~1994年)などをふまえてまとめられた、御所見地区 (2016年)、村岡地区(2017年)、片瀬地区(2018年)、湘南台地区(2019年)につづく 地区別の資料解説・目録集第5集。画像でみる善行・湘南大庭(大庭御厨と大庭 氏、大庭城の興亡とその跡、よみがえる大庭城、江戸時代の善行、絵図から見る 「相給村」大庭、善行・湘南大庭の旧地形と史跡図、親子二代の民権家、時代に 翻弄された施設、「住みよいまち作り」に向けて、写真に見る善行地区・湘南大 庭地区の移り変わり)/善行・湘南大庭をひもとく(善行地区と湘南大庭地区に ついて、地図・絵図目録、地誌に見る善行・湘南大庭の寺社、数値で見る善行・ 湘南大庭、大庭御厨の成立と展開、大庭の中世史料、資料紹介 領主を困らせた 「入作」、地方行政に尽力した自由民権家親子、藤澤カントリー倶楽部と藤沢飛行 場、善行地区と大庭地区の開発について)/善行・湘南大庭の歴史資料(各資料 群の概要、「藤沢市文書館資料目録(善行地区・湘南大庭地区) | (CD-ROM収録) について、もっと詳しく知りたい人へ、藤沢市行政区画変遷表、藤沢市および周 辺行政区画変遷図)/付属CD-ROM 藤沢市文書館資料目録(善行地区·湘南大 庭地区)、藤沢市文書館写真目録(善行地区・湘南大庭地区)

◆大和町の近・現代

南魚沼市教育委員会編・刊(〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町456-1 南魚沼市教育委員会社会教育課郷土史編さん係 TELO25-773-2197)2020年4月 A5 787+5頁

平成16年に六日町と大和町が合併して誕生した南魚沼市の郷土史編さん事業として継続中の『六日町史』『大和町史』。本書は、既刊の『大和町史』上巻(原始・古代・中世 昭和52年)、中巻(近世 平成3年)につづく下巻として、『大和町の近世』(2019年7月)につづき1868年(明治元)から2004年(平成16)10月31日までを記述する。口絵/発刊のことば(林茂男)/はじめに(今成卓而)/凡例

[近代編] 第一章 近代大和地域の発足(戊辰戦争、新しい行政制度、町村制下の大和地域、諸産業の興隆、社会生活の変化、教育と文化の刷新)/第二章 日清・日露戦争前後の大和地域(日清・日露戦争と住民、村の政治と行財政、諸産業の隆盛、住民生活の転変、教育と文化)/第三章 第一次世界大戦から大正デモクラシーへ(村政の変化、交通の隆盛、農業と商工業、村の大正デモクラシー)/第四章 農業恐慌から十五年戦争へ(恐慌前夜の農村と村政、恐慌期の村、恐慌下の教育と文化、戦時体制への呼応、戦時下の村民生活)

〔現代編〕 第一章 敗戦後の村々(敗戦後の村々のくらし、農地改革と開田事業、

復興する村々、戦後教育と文化活動)/第二章 高度経済成長期の大和町 (大和村・大和町の誕生、開発と基盤整備、農村の変容、教育と文化の発展)/第三章 高速交通体系と福祉・学園都市 (上越新幹線と関越自動車道、住民生活と福祉、学園都市の創成、観光開発の模索、新時代の大和町)/主な参考・引用文献/執筆者一覧/郷土史編さん関係者名簿/資料所蔵者・協力者一覧/あとがき/掲載写真の出典一覧/付1 参考資料/付2 大和地域管内図

◆松本の歴史を学ぶ一文書館子ども講座

松本市文書館編(〒390-1242 長野県松本市和田1058-2 TEL026-347-0040) 松本市 2020年3月 A4 96頁

平成元年の開館以来、約14万点の資料を収集してきた松本市文書館により、小学 校高学年生と保護者を対象として平成28年度から8回開催してきた「文書館子ど も講座 | の内容を再構成する。第1章 松本城と城下町(深志城から松本城へ、 松本の城下町、江戸時代の街道と通船、源智の井戸、加助騒動、松本城の整備、 明治期の大火、年表)/第2章 開智学校(開智学校の開校、開智学校の新築、 一市一校制と国宝旧開智学校、松本市街図(昭和6年)、小学生の作文(大正期)1、 小学生の作文(大正期)2、年表)/第3章 戦時下の松本-移民が全国-の長野 県、東筑摩開拓団、松本郷開拓団、満蒙開拓青少年義勇軍、義勇隊として入植、 年表)/第4章 松本への学童集団疎開(松本への学童集団疎開、山崎国民学校 の集団疎開、開智国民学校への集団疎開、疎開学童の絵手紙、母からの手紙、年 表)/第5章 県歌「信濃の国」(信濃国からふたつの県へ そして長野県に、 「信濃の国」の誕生、浅井洌、「信濃の国」が県歌に、「信濃の国」1番、「信濃の 国」2番、「信濃の国」3番、「信濃の国」4番、「信濃の国」5番、「信濃の国」 6番、年表)/第6章 松本の礎を築いた人たち(小里頼永、今井五介、鳩山春子、 市川量浩、小林有也、木下尚江、河原操子、中島治康、鈴木鎮一、小松一三夢、 年表)/この本の使いかた

◆『立憲政体改革の急務』島田邦二郎史料集成

一淡路島の「自由民権」と憲法構想

大阪民衆史研究会 島田邦二郎史料集成編集委員会編(編著代表 尾川昌法) 大阪民衆史研究会(〒599-0233 大阪府阪南市光陽台4-5-25 林耕二気付 TbIO72-471-8601) 2018年12月 A5 330頁 2000円+税

明治22年(1989)の帝国憲法発布直後から執筆されたとされる埋もれた明治憲法批判の書『立憲政体改革之急務』を中心に、島田家文書・佐野家文書(洲本市立淡路文化史料館所蔵)から淡路の自由民権運動を物語る島田邦二郎史料24点を収録する。第一部 島田邦二郎研究 邦二郎筐底の遺稿――世紀を経て光を浴びる(島田耕)、島田家系図(茂右衛門以後)、島田邦二郎を訪ねた権東鎮(田中隆夫)、島田彦七、邦二郎と淡路の自由民権運動(竹田芳則)、淡路自由党名簿・1882(明

治15)年6月15日、「立憲政体改革之急務」の思想―自由民権運動の到達点(高島千代)、島田邦二郎関係年表/第二部 島田邦二郎史料集成 凡例、立憲政体改革の急務、三大事件建白運動、関係書簡等、「備忘録」、関係史料・参考文献

◆新・ムラの生活史Ⅲ

香寺町史研究室編(〒679-2131 兵庫県姫路市香寺町犬飼464-1 犬飼公民館別 館 TEL079-280-6665) 香寺歴史研究会刊 2020年3月 B5 65+47頁 旧香寺町民自身によりまとめられた町中『香寺町史 村の記憶』(2005年)と、そ の後の各大字誌編さんの経験から結成された「『村の記憶』を書き継ぐ会」(2017 年5月)による新しい『村の記憶』。 I (2018年2月)、II (2019年3月)につづく本書 には、川の地名調査の成果と中学生の「地域調べ」を収録する。はじめに(大槻 守)/[第一部 川と暮らし調査] 中村(沼田勝博)、北恒屋(谷口英作)、中寺(牛 尾降彦)、土師(渡邊博昭・渡邊紀男・林正典・小原康彦)、溝口(中安清夫・鎌谷 博善)、岩部(藤尾曻)、香呂(市場正行)、行重(神崎茂樹)、矢田部(田中稔郎)、 相坂(駒田新安)、田野(藤田正男)、犬飼(金井貞文)、中仁野(伊森培雄)、中屋 (中安清行)、広瀬北(明星明秀)、須加院(上月義弘)/[第二部 中学生の地域調 べ〕 地域調べ学習作品タイトル一覧、1年1組(小久保慎哉、西希望、福永一花、 藤尾遥、溝口舞南、山元麻世)、1年2組(岡田明莉、喜田桃果、藤尾彩音、的場 心花、小野ほのか)、1年3組(尾崎千夏、澤田大喜、清水悠翔、長尾麗、山崎 聖音)、1年4組(梶原つかさ、熊谷陸仁、坂口裕香、野田小晴、山口穂、山本 あい、山本知歩)

◆戦国・安土桃山時代の池田氏―池田恒興と池田輝政 岡山文庫318 倉敷ぶんか倶楽部編 石井編集事務所書肆亥工房編集 日本文教出版(〒700-0016 岡山市北区伊島町1-4-23 ™086-252-3175)2020年5月 文庫判 155頁 900円+税

寛永 9 年(1632) に池田光政が31万5000石で入封して以来、江戸時代を通じて備前岡山藩を治めた池田氏のルーツに触れたうえで、恒興・輝政父子の生い立ち、戦歴、功績などに触れるとともに、恒興の母、信長の乳母の養徳院(大御乳様、1515~1608)、恒興の三男で備中松山藩主・池田氏の家祖である池田長吉(1570~1614)、池田氏の重臣にも頁を割いて、池田恒興・輝政父子をはじめとする戦国時代・安土桃山時代の池田氏の歴史・人物をわかりやすく紹介。はじめに/第一章中興の祖 池田恒興(上)一父母と出仕後の戦功/第二章中興の祖 池田恒興(下)一晩年の活躍と恒興の家族/第三章 西国の将軍 池田暉政(上)一前半生の戦功と領地経営/第四章 西国の将軍 池田暉政(下) 一姫路入封と輝政の家族/資料編 池田氏関係略年表、池田氏略系図/参考文献/おわりに

◆坂出市史 通史編下 地誌·生物篇

坂出市史編さん所編(〒762-0043 香川県坂出市寿町1-3-38 勤労福祉センター2

F TeLO877-44-4044) 坂出市 (〒762-0007 香川県坂出市室町2-3-5) 2019年9月 A4 150頁

市制施行10周年記念『坂出市史』と市制40周年記念事業による年表編・資料編二 冊(昭和63年)をうけて平成25年度から始まった新『坂出市史』待望の通史編下。 本書「地誌・生物篇」では、坂出の地理および自然の特色が形成された過程や諸 要因に着目して、それらが坂出の歴史、経済、生活文化といかに関わり、現在に 至っているか、さらに坂出の動植物の分布や特色とその変化について述べる。口 絵/序(綾宏)/はじめに/第1章 坂出の地理的性格と特色ある景観(坂出の地 理的性格、坂出のシンボルと景観を構成する要素、コラム 旅する巨人・宮本常 一のみた昭和の坂出、コラム 小学校社会化副読本から知る坂出の変貌)/第2 章 坂出の自然景観を読む(坂出の地質と自然景観、コラム 国分寺引責、コラ ム アルミニウム鉱山だった金山、コラム 備潜瀬戸海底からみつかる動物化石、 コラム 民俗宗教と讃岐層群の岩石、坂出の地形環境、坂出の気候環境、コラム 備讃瀬戸海上の特徴的な雲、コラム 坂出の天気のことわざ、坂出の水文環 境)/第3章 坂出の人文景観を読む(景観に歴史を探る、坂出の自然資源を生 かした産業、コラム 「坂出三金時」の歩みを知る、工業都市としての発展、交 通体系の整備・架橋と地域変容、コラム 坂出から徳島へ 汽車で行くには琴平 経由?、コラム 坂出から琴平へ 3社もの鉄道が通じていた!?、コラム 陰の 狐島だった王越地区、コラム 自転車と荷車らも税金!?、島嶼部の変容)/第4 章 坂出の植物(坂出の植物の特徴、コラム 室木島はネズの島、コラム アッ ケシソウ、坂出の貴重な植物、坂出の街路樹と緩衝緑地、コラム 坂出市の木・ 花)/第5章 坂出の動物(坂出の動植物の特徴、地域ごとの動植物、コラム 五色台にかつてシカはいた、コラム 日本最大のカタツムリ、コラム 香川県固 有種のカタツムリ、コラム 市役所周辺で昔ゲンゴロウを捕まえた!、コラム 沙弥島で遊ぶカワウソ、人の活動と動植物の変化)/参考文献一覧

◆坂出市史 通史編下 近代篇

坂出市史編さん所編(同上) 坂出市刊 2020年1月 A4 307頁 本書「近代篇」では、幕末・明治期から太平洋戦争終戦時における坂出市域の政治・産業経済・社会・教育文化について叙述する。口絵/序(綾宏)/第一章 幕末維新期の坂出市域(新政府の誕生、民衆騒擾、白峯寺・頓証寺殿と政府の宗教政策)/第二章 社会の移り変わり(明治前期)(政治の変遷、殖産興業と坂出の産業、コラム 絵図より分かる明治期の網漁具、社会生活、国民皆兵、文明開化、近代教育)/第三章 近代社会の成立(明治後期)(坂出町と周辺の村、立憲政治、産業革命期の商工業、農林業、漁業の発達、交通網の発達、伝染病の流行と保健・衛生、生活と文化、学校教育の整備拡充、日清・日露戦争)/第四章 地方改良運動と大正デモクラシー(明治末から大正期)(坂出町の財政推移、日露戦争

後の勧業政策、信用組合の成立、戊申詔書と矯風運動、憲政擁護運動、大戦景気と戦後の恐慌、坂出港修築への動き、交通の発達、米騒動と労働運動、地主制と小作争議、水平社運動、慈恵救済運動、学校教育と社会教育の充実、大正の風俗と市民文化)/第五章 昭和恐慌期の坂出(昭和前期)(昭和改元、昭和恐慌の時代、港湾修築事業、企業の進出と工業の発達、交通網の発展、市街地の発展、隣村の合併、農村社会と農業、救護事業、海外・県外移住、社会教育とスポーツ振興、昭和初期の教育運動と学校教育)/第六章 戦時体制下の坂出(満州事変から日中戦争へ、坂出市制の施行、国民精神総動員運動、統制下のくらし、庶民生活、言論統制の強化、軍国主義教育、太平洋戦争)/参考文献一覧

◆坂出市史 通史編下 現代篇

坂出市史編さん所編(同上) 坂出市刊 2020年1月 A4 308頁

本書「現代篇」では、坂出市の誕生、戦後から平成期までの坂出市域における政 治・産業経済・社会・教育文化について叙述する。口絵/序(綾宏)/序章 坂出 市の誕生(坂出市制施行)(坂出市の発足、戦時体制下情勢)/第一章 港湾都市 坂出の再出発(復興と自立期の坂出)(戦後の社会情勢、地方自治の進展、港湾と 産業(港湾都市坂出と産業)、広域都市坂出、市民生活と住民福祉、教育と文化 活動)/第二章 臨海工業都市坂出の建設(昭和35年~47年高度経済成長期の坂 出)(広域都市坂出の市政、港湾の修築、番の州埋立てと工場誘致、土木事業、 地場産業の振興、市民生活と社会福祉、教育と文化活動)/第三章 進化する臨 海工業都市(番の州工業地帯 昭和47~63年 三全総・地方の時代理念と坂出) (『総合計画基本構想』期の坂出市政、番の州工業地帯、土木工事、産業の発展、 市民生活と社会福祉、教育と文化活動)/第四章 瀬戸大橋新時代の坂出(昭和末 ~平成期、バブル期~構造改革期、四全総ふるさと創成期の坂出)(瀬戸内の中 収載市坂出の市政、瀬戸大橋の架橋、四国横断自動車道と高松空港、

橋脚コンビ ナートの発展、土木事業、産業の振興、市民生活・社会福祉、教育と文化、坂出 市の行財政改革、ともに担い ともに築くまちづくり一輝くまちづくりをめざし て)/参考文献一覧

◆坂出市史 近世資料篇(その二)

坂出市史編さん所編(同上) 坂出市刊 2020年2月 A4 59頁

本資料篇では、古代・中世篇(2018年11月)、近世資料篇(その一)(2019年3月)につづき、阿河家文書から近世資料2点を収録する。口絵/発刊の辞(綾宏)/『未の歳日帳』寛政十一年正月正月吉日(阿河家文書)/『御用留』嘉永弐年酉正月(阿河家文書)/解題

◆さかいでの民俗 文化史さかいでシリーズ Ⅵ

坂出市史編さん所編(同上) 坂出市刊 2020年2月 A4 282頁 新『坂出市史』編さん事業の一環としてテーマごとに坂出の生活文化をまとめる 「文化史さかいで」シリーズの第6冊。坂出市の各地域における社会・経済・儀礼・信仰・芸能・言語などにおける各伝承や民具といった有形・無形の民俗資料を収集して紹介する坂出の歴史ガイドブック。口絵/発刊の辞(綾宏)/第一章坂出市の民俗の特徴(「さかいでの民俗」の編さんにあたって、坂出の民俗基盤、昭和・平成の民俗環境の変化)/第二章 経済伝承(坂出市の経済伝承の特徴、農業、農業水利、農家の副業・内職、漁業、塩業、商業、鉱業、諸職、月給取り、交通・交易・運輸)/第三章 社会伝承(坂出市の社会伝承の特徴、ムラ組織、家・家族と親類、講組と互助、現代の社会組織、衣生活今昔、食生活今昔、住生活今昔、産育今昔、婚姻今昔、厄年・年祝い今昔、葬送・年忌供養今昔、墓制今昔)/第四章 信仰伝承(坂出市の信仰伝承の特徴、年中行事、神社祭礼と太鼓台・ダンジリ、ももて祭り・千矢、マチの祭りと寺院・教会、その他の神仏伝承、俗信と民俗知識)/第五章 民俗芸能・口承文芸(坂出市の民俗芸能・口承文芸の特徴、民俗芸能、競技、遊び、昔話、伝説、諺、民謡)/第六章 戦争と災害の記憶(戦争と災害の記憶の特徴、戦争、災害)/第七章 昭和の子どもの生活(子どもたちの生活の特徴、ちょっと昔の子どもの生活)/引用・参考文献一覧

◆後記---

『毎日新聞』8月15日第一面の「余録」は、終戦の5日後、憲兵隊司令部が各部隊に、私物の本に挟んだものから、机の脚の下の動揺止めにした紙片まで、ありとあらゆる文書を探し出して焼却するよう念押しした通達を出したことや、内務省が焼却に三日三晩かけ、外務省は8千冊の書類を焼いたことを上げ、「明治国家は軍人や役人の戦争責任を煙に変えた炎とともに滅んだ」と記している。憲兵隊の通達が、「思わざる失態」を演じぬようというのは笑ってしまう。「余録」はこの前例から、コロナ禍における行政文書が、後日の検証や将来の感染症対策に資するよう記録されているかと、危惧している。政府は新型コロナへ対応を、行政文書管理ガイドラインに基づく「歴史的緊急事態」に指定し、公文書管理を徹底すると決めた。ところが、専門家会議は助言機関であり、ガイドラインが定めた政策を決定する会議に該当しないとする。新型コロナは文字通り未曾有の経験であり、専門家会議の議論は極めて重要な意味を持つ。歴史の糧とするために、その内容は細大漏らさず記録され、凍やかに公開されなければならない。(飯澤)

地方史情報 145 2020年(令和2年)9月1日 発行

編集·制作 : 白 鳥 舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開:岩田書院 http://www.iwata-shoin.co.jp

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TELO3-3326-3757

*本誌は, 140号より, PDF版のみの発行です。